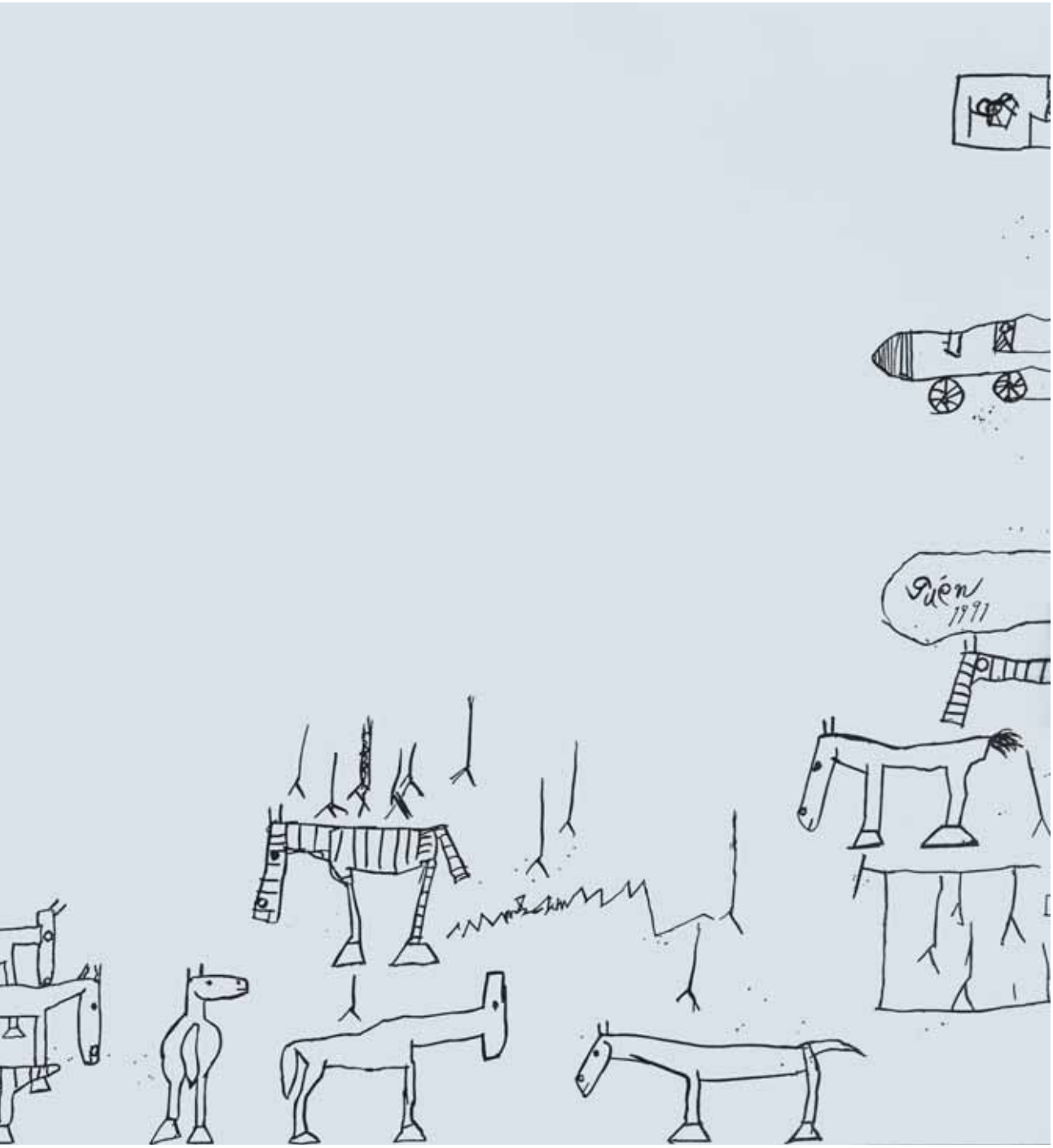
丸亀市猪熊弦一郎現代美術館
年報2019-2021



Marugame Genichiro-Inokuma Museum Of Contemporary Art

MIMOCA

表紙　壁画『創造の広場』1991年　猪熊弦一郎　　撮影　フォトス　高橋 章



縦　　1150cm
横　　2157cm
材質　大理石（ギリシア産）
　　御影石（岐阜県・美濃産）

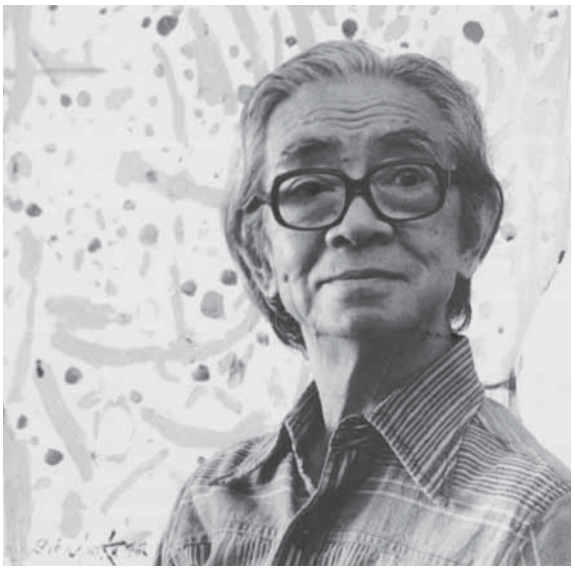
『壁画の主題になっている馬は、人間をはじめとする生き物の代表として描いたものです。壁画のあるゲートプラザには、壁画のほかに彫刻類もあり、この広場に立ったとき、空間の広さと美しさを感じ、それぞれの人に新たな創造の意欲がわき出るような広場にしたかったのです』

猪熊弦一郎

美術館設立に寄せて

『私が少年時代を過ごした、想い出深い丸亀の地にこの美術館が建てられた事を大変嬉しく思います。現代美術を専門に展示する美術館は、全国的にもユニークであり、丸亀市民の皆様の力で建設されたこの美術館によって、まち全体が文化的な環境になって行くことを期待しています』

猪熊弦一郎



©Francis Haar

凡例

各展覧会の出品作品リストは、「刊行物一覧」（41頁〜）にある刊行物または当館ホームページに掲載した。
猪熊弦一郎の作品所蔵者は、特に記していない場合は当館である。
【HP】www.mimoca.org

目次

Ⅰ　沿革 …… 1
Ⅱ　展覧会事業
　ⅰ　展覧会一覧（2019-2021） …… 3
　ⅱ　企画展
　　2020年度
　　142　猪熊弦一郎展　アートはバイタミン …… 4
　　143　窓展　窓をめぐるアートと建築の旅 …… 6
　　144　猪熊弦一郎展　色に注目！－赤・黄・青から見てみると？－ …… 8
　　145　まみえる　千変万化な顔たち …… 9
　　2021年度
　　146　猪熊弦一郎展　いのくまさんとニューヨーク散歩 …… 10
　　147　藤島武二と猪熊弦一郎展　サンプリシテとシンプル …… 12
　　148　丸亀での現在 …… 14
　ⅲ　常設展
　　2020年度
　　猪熊弦一郎回顧展 …… 16
　　猪熊弦一郎展　1930年代の具象表現 …… 16
　　猪熊弦一郎展　ニューヨークでの画業 …… 16
　　パリの猪熊弦一郎と藤田嗣治 …… 17
　　猪熊弦一郎展　ハワイで見つけた色と形 …… 17
　　2021年度
　　猪熊弦一郎展　関心を追って …… 17
　　猪熊弦一郎展　デフォルマシオン …… 17
　　猪熊弦一郎展　NYでみた絵、かいた絵 …… 17
　ⅳ　その他事業
　　スタンプカード …… 18
Ⅲ　教育普及事業
　ⅰ　ワークショップ …… 19
　ⅱ　スクールプログラム
　　1　学校等団体での来館 …… 26
　　2　鑑賞教材貸出 …… 28
　　3　博物館実習 …… 29
　　4　職場体験 …… 29
　　5　ミモカキッズパスポート …… 30
　ⅲ　地域連携事業
　　1　丸亀どこでもMIMOCA …… 31
　　2　丸亀ここがMIMOCA …… 32
　　3　ミモカシニアパスポート …… 33
　　4　いのくまさんのスケッチブック　アートはバイタミン …… 34
　　5　親子でMIMOCA …… 36
　ⅳ　イベント …… 37
　ⅴ　刊行物一覧 …… 41
　ⅵ　美術図書室利用状況 …… 44
　ⅶ　MIMOCA FRIEND（ミモカフレンド） …… 45
Ⅳ　美術作品整理・管理
　ⅰ　貸出 …… 46
　ⅱ　収蔵品データベース …… 59
Ⅴ　広報事業
　ⅰ　MIMOCAマガジン …… 60
Ⅵ　収益事業
　ⅰ　ミュージアムショップ …… 61
　ⅱ　カフェ …… 70
　ⅲ　ミュージアムホール …… 71
Ⅶ　入館者状況 …… 72
Ⅷ　組織図 …… 75
Ⅸ　施設概要 …… 78
Ⅹ　利用案内 …… 79

Ⅰ　沿革

1987年(昭和62年)10月　丸亀市が市制90周年事業として猪熊弦一郎美術館の建設を発表
1988年(昭和63年)１月　美術館建設懇談会設置
７月　美術館建設懇談会、市長に意見書提出
８月　美術館建設基本構想策定
９月　美術館基本設計委託
丸亀駅前地下駐車場建設工事着工
11月　美術館準備室設置
1989年(平成元年)２月　美術館基本設計完了
３月　美術館実施設計委託
５月　美術館基本設計変更案決定
９月　美術館実施設計完了
11月　美術館建設工事着工
12月　美術館建設工事起工式
猪熊弦一郎から丸亀市へ≪夜≫≪猫に寄せる歌≫≪Two Shores A≫等、
第１回分として作品1000点を寄贈
1990年(平成２年)３月　丸亀駅前地下駐車場建設工事竣工
1991年(平成３年)３月　JR丸亀駅南口広場の整備工事完成
定礎式と壁画「創造の広場」除幕式
猪熊弦一郎に名誉市民証授与される（丸亀市第１号）
６月　美術館建設工事竣工
９月　丸亀市美術館条例制定
10月　美術館の愛称が「MIMOCA」に決定
11月　落成式
一般公開（23日）
1992年(平成４年)３月　入館者５万人達成（28日）
５月　猪熊弦一郎から丸亀市長とのかねてからの約束に基づき
所有する作品等を市に寄贈する主旨の文書提出
10月　入館者10万人達成（９日）
12月　第26回サイン・デザイン賞受賞
1993年(平成５年)４月　財団法人ミモカ美術振興財団設立
５月　猪熊弦一郎、東京にて死去（17日、満90歳）
９月　第34回建築業協会賞受賞
1994年(平成６年)５月　第７回村野藤吾賞受賞
８月　入館者30万人達成（４日）
1995年(平成７年)４月　MIMOCA FRIEND（ミモカフレンド）発足

1996年(平成８年)４月　第５回公共建築賞（主催:社団法人・公共建築協会)、特別賞受賞（３日）
５月　休館日改定（月曜日休館を廃止し、元旦より開館へ）
料金体系改定（大学生料金を一般料金と分離し、高校生以下無料に）
開館時間変更（午前10時から午後６時まで）
入館者50万人達成（15日）
９月　ホームページ開設（５日）
1997年(平成９年)７月　美術館南北の市道の愛称を「美術館通り」「いのくま通り」と設定
1998年(平成10年)11月　建設省設立50周年記念「公共建築百選」に選出
2000年(平成12年)９月　入館者100万人達成（26日）
2001年(平成13年)11月　香川県教育文化功労者受賞（１日）
開館10周年を迎える（23日）
2003年(平成15年)11月　生誕100周年記念猪熊弦一郎回顧展開催（23日）
2006年(平成18年)４月　財団法人ミモカ美術振興財団が当館の指定管理者となる（契約期間２年）
2008年(平成20年)４月　財団法人ミモカ美術振興財団が当館の指定管理者となる（契約期間１年）
2009年(平成21年)４月　財団法人ミモカ美術振興財団が当館の指定管理者となる（契約期間４年）
2011年(平成23年)２月　公益財団法人ミモカ美術振興財団が発足（１日）
９月　入館者200万人達成（10日）
11月　開館20周年を迎える（23日）
2013年(平成25年)４月　公益財団法人ミモカ美術振興財団が当館の指定管理者となる（契約期間５年）
2015年(平成27年)１月　一般社団法人地域創造「平成26年度地域創造大賞（総務大臣賞)」受賞（16日）
2018年(平成30年)４月　公益財団法人ミモカ美術振興財団が丸亀市との業務委託契約により
当館の運営にあたる（契約期間１年）
12月　施設の長寿命化工事に伴い2020年（令和２年）３月末まで長期休館
2019年(平成31年／令和元年)４月　公益財団法人ミモカ美術振興財団が丸亀市との業務委託契約により
当館の運営にあたる（契約期間１年）
2020年(令和２年)４月　公益財団法人ミモカ美術振興財団が当館の指定管理者となる（契約期間５年）
休館日改定（月曜日休館（月曜日が祝休日の場合はその直後の平日))
2021年(令和３年)11月　開館30周年を迎える（23日）

Ⅱ　展覧会事業

i　展覧会一覧
(2019-2021)

企画展

	No.	展覧会名	会期
2019年度		施設の長寿命化工事のため休館	
2020年度	142	猪熊弦一郎展　アートはバイタミン	2020年6月2日～9月22日 ※1
	143	窓展　窓をめぐるアートと建築の旅	2020年10月13日～2021年1月11日
	144	猪熊弦一郎展　色に注目！ －赤・黄・青から見てみると？－	2021年1月23日～3月7日
	145	まみえる　千変万化な顔たち	2021年3月20日～6月6日 ※2
2021年度	146	猪熊弦一郎展　いのくまさんとニューヨーク散歩	2021年6月19日～9月5日 ※3
	147	藤島武二と猪熊弦一郎展　サンプリシテとシンプル	2021年9月18日～12月5日 ※4
	148	丸亀での現在	2021年12月18日～2022年3月21日

常設展

	展覧会名	会期
2019年度	施設の長寿命化工事のため休館	
2020年度	猪熊弦一郎回顧展	2020年6月2日～9月22日 ※1
	猪熊弦一郎展　1930年代の具象表現	2020年10月13日～2021年1月11日
	猪熊弦一郎展　ニューヨークでの画業	2021年1月23日～3月7日
	パリの猪熊弦一郎と藤田嗣治	2021年3月20日～6月6日 ※2
	猪熊弦一郎展　ハワイで見つけた色と形	2021年3月20日～6月6日 ※2
2021年度	猪熊弦一郎展　関心を追って	2021年6月19日～9月5日 ※3
	猪熊弦一郎展　デフォルマシオン	2021年9月18日～12月5日 ※4
	猪熊弦一郎展　NYでみた絵、かいた絵	2021年12月18日～2022年3月21日

※1　施設の長寿命化工事後、2020年４月18日をリオープンの日としていたが、
　　2020年４月18日～５月31日は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館
※2　５月11日～５月31日は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館
※3　８月17日～９月５日は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館
※4　９月18日～９月30日は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館

Ⅱ　展覧会事業

ii　企画展

142　猪熊弦一郎展　アートはバイタミン

会　　期　2020年６月２日(火)～９月22日(火・祝)

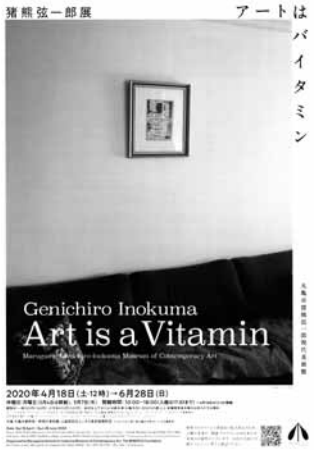
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2020年４月18日(土)～６月28日(日)より会期を変更

会　　場　１階エントランス、３階展示室Ｃ

主　　催　丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団

画家、猪熊弦一郎（1902-93）は、生涯を通じて、美を愛し、美を探究し、美をあらわそうとした。美しいものには、人の心を癒したり活性化したりする力があると信じ、自分が作り出した美を、より多くの人々の身近な場所に提供し、世の中や人の生活に役立てたいという思いを強く持っていた。また、家に一ついい絵があれば、それを毎日ほんの少し見るだけで大きな効果があるとし、美術館を「病院」とするならば、家で見る絵は「ビタミン剤」のようなものだとも考えていた。自身の暮らしも常に整え、生活そのものを大切にしていた。

本展は、当館改修工事後のリオープン展として、初心に立ち返り、猪熊弦一郎が考えるアートの役割と、猪熊作品が生活のなかに作り出した美のあり方を展観した。「猪熊自身の暮らし」「プライベート空間への美の提供」「パブリックアート」の３章で構成、吉村順三設計による猪熊自邸「田園調布の家」の台所と居間を原寸大で再現、猪熊作品を飾った暮らし方の実例、猪熊がデザインした家具や包装紙、加えて、長く愛され続けている猪熊の代表的なパブリックアートの現在の様子を写真や実物大の模型で紹介した。



※チラシの会期は、会期変更前のものです。



吉村順三設計「田園調布の家」1971年　1/1模型
ⓒホンマタカシ

制作物　館内配布用タブロイド紙（岡本仁(Landscape Products)編集）

入場者数 **11,114**人

関連企画

リオープン記念
観覧無料デー＋色鉛筆プレゼント

※中止
４月18日(土) 12時～18時
　19日(日) 10時～18時

リオープン記念
キュレーターズ・トーク・リレー

※中止
4月18日(土)、19日(日) 各日
12時30分～、13時30分～、14時30分～、
15時30分～、16時30分～
会　場　３階展示室Ｃ
料　金　無料

キュレーターズ・トーク

※中止
５月10日(日)、６月14日(日) 各日
14時～
会　場　３階展示室Ｃ
料　金　無料（ただし展覧会チケットが必要）
　　６月14日は手話通訳付き

対談　岡本仁(Landscape Products)×
中原慎一郎（Landscape Products）
「いのくまさんの家で考えたこと」

※中止
６月７日(日) 14時～
会　場　２階ミュージアムホール
料　金　無料

親子でMIMOCAの日

６月21日(日) 10時～18時
料　　金　無料
参加者数　489人
※同日10時30分～の親子向けギャラリートークは中止
(「親子でMIMOCAの日」の詳細は36頁)

YouTube配信　対談　岡本仁×中原慎一郎
「いのくまさんの家で考えたこと」

配信期間　９月20日(日)～９月22日(火・祝)
再生回数　886回
　　手話通訳付き

143　窓展　窓をめぐるアートと建築の旅

会　　期　2020年10月13日(火)～2021年１月11日(月・祝)

会　　場　２階展示室Ａ、３階展示室Ｃ

主　　催　丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団、東京国立近代美術館、
　　一般財団法人 窓研究所

助　　成　スイス・プロ・ヘルヴェティア文化財団

後　　援　在日スイス大使館、ポーランド広報文化センター

学術協力　五十嵐太郎（東北大学教授／建築史・建築批評家／「窓学」総合監修）

巡 回 先　2019年11月11日(月)～2020年２月２日(日)東京国立近代美術館

身近にあって私たちの生活に欠くことができない窓。四角い枠で世界を切り取って私たちに見せてくれる窓は、同じく四角い枠で囲われた、ここではない世界をもたらす絵画と深い関係にあると考えられてきた。そして、時代が下るにしたがって、写真や映像、インスタレーションにも同じ関心が引き継がれている。また、建築の分野では、気候風土に合わせた工夫や技術の発展、美的な配慮が各時代や地域にさまざまな窓を生み出してきた。

本展では、一般財団法人 窓研究所による知見を得て、ボナールやクレーの絵画から現代美術まで、窓に関わる美術作品をご覧いただくとともに、ル・コルビュジエ、カーンなどの建築家の貴重なドローイングもあわせてご紹介。ジャンルを横断して広がる窓の世界を楽しんでいただいた。



制作物　なし



撮影：Shinsuke Inoue

入場者数 **7,632**人

関連企画

ホンマタカシサテライトマルガメvol. 3

10月13日(火)～１月11日(月・祝)の土・日・祝日(12月26日(土)・12月27日(日)は除く)
会　　場　丸亀港合同待合所２階
料　　金　無料
参加者数　211人

ホンマタカシサテライトマルガメvol. 3
ホンマタカシによる解説つき観覧日

10月31日(土)14時～14時30分、
11月１日(日)11時～11時30分、
11月１日(日)14時～14時30分
会　　場　丸亀港合同待合所２階
料　　金　無料
参加者数　15人

Deer Revenge ライブ

10月31日(土)18時～19時
会　　場　３階　カフェMIMOCA横
料　　金　無料
参加者数　35人

親子でMIMOCAの日

11月14日(土)、15日(日)10時～18時
料　　金　無料
参加者数　309人
(「親子でMIMOCAの日」の詳細は36頁)

YouTube配信「窓展 窓をめぐるアートと建築の旅」ギャラリートーク

出演　蔵屋美香（横浜美術館館長）
配信期間　12月27日(日)～１月11日(月・祝)
再生回数　239回

144　猪熊弦一郎展　色に注目！－赤・黄・青から見てみると？－

会　　期　2021年１月23日(土)～３月７日(日)

会　　場　３階展示室Ｃ

主　　催　丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団

私たちは身の回りのものを選ぶときにその色によって判断するなど、色を気にかけてものを見ている。絵画を見る際にも、どんな色で描かれているか、色合いやコントラストなどを追いながら見るのは楽しいものである。そこには色の美しさへの驚きや、思いもよらない色遣いを発見する喜びがあり、また画家の特徴もあらわれている。

本展は、対象が何であるか関係なく色に注目して見るという、日常生活で自然と身についている方法で、猪熊弦一郎（1902-1993）の絵画を見る試みをしたものである。猪熊の絵画は豊かな色彩が特徴だが、まずは赤、黄、青の３色を取り上げて「色に注目」する初めの一歩とした。それぞれの色で描かれた作品に始まり、会場を進むごとに３つの色を自在に組み合わせたもの、さらに他の色も加わったものまでが見られるように展開させ、作品との距離がぐっと近づき、色から広がる絵画の世界が開けるようにした。





撮影：増田 好郎

制作物　なし

関連企画

親子でMIMOCAの日

２月13日(土)、14日(日)10時～18時
料　　金　無料
参加者数　296人
(「親子でMIMOCAの日」の詳細は36頁)

リモート・トーク

会場内のモニターを通じて、展覧会担当者と会話をした。
２月13日(土)、２月21日(日)
11時～12時、13時30分～14時30分、15時～16時
料　　金　無料
参加者数　28人

入場者数 **3,257**人

145　まみえる　千変万化な顔たち

会　　期　2021年３月20日(土・祝)～６月６日(日)

※５月11日(火)～５月31日(月)は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館

会　　場　３階展示室Ｃ

主　　催　丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団

人間の顔には、目・鼻・耳・口といった感覚器官が集まっており、皮膚も含めると視覚や聴覚などの五感全てを受け取る場所となっている。この顔を通して、私たちは相手を特定し、その心の中を探りながらコミュニケーションを取り、社会生活を送っている。

芸術の領域においても、顔は古今東西の様々な作品の中で表現され続けてきた。近代以降は、自己や他者に向き合い、その個性や内面、また人間という存在そのものの謎を浮かび上がらせるような作品が多く現れた。さらに、自我のあり方が流動的なものへと変容し、自己と他者との関係性が複雑化した現代社会では、芸術作品における顔の表現もますます多様化している。

本展では、近代から現代までの10人の芸術家による顔の表現を、「私とあなた」「関わりの顔」「顔にあそぶ」という３つのアプローチから紹介し、マスクで顔が見えにくいコロナ禍において多様な顔との出会いの機会を創出した。





撮影：KEI OKANO

刊行物　カタログ

制作物　子ども向けリーフレット

出品作家

岸田劉生、萬鉄五郎、猪熊弦一郎、木村伊兵衛、奈良美智、ERIC、髙山陽介、super-KIKI、横山裕一、笹岡由梨子

関連企画

親子でMIMOCAの日

４月３日(土)、４日(日)　10時～18時
料　　金　無料
参加者数　278人
(「親子でMIMOCAの日」の詳細は36頁)

入場者数 **4,054**人

146　猪熊弦一郎展　いのくまさんとニューヨーク散歩

会　　期　2021年６月19日(土)～９月５日(日)

※８月17日(火)～９月５日(日)は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館

会　　場　１階エントランス、３階展示室Ｃ

主　　催　丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団

戦前に暮らしたパリへ戻るため、1955年に日本を発った猪熊弦一郎（1902-93）は、旅の途中に立ち寄ったニューヨークに心惹かれ、パリ行きをキャンセル、ニューヨークに居を構えその後約20年間を過ごした。第二次世界大戦後、ニューヨークはアートの拠点となっており、猪熊は、自宅から歩いて行ける距離に立ち並ぶ世界有数の美術館やギャラリーで最先端のアートに接し、高層ビルや斬新な建築物を眺め、パレードや路上ライブを楽しみ、路地裏の落書きを夢中で撮影するなど、ニューヨーク暮らしを堪能した。環境の変化は作画にも大きな影響を与え、渡米後、猪熊の表現は具象から抽象へと様変わりし、ウィラードギャラリーの所属作家として個展を10回開催するなど精力的に新作を発表し続けた。

本展では、「編集長」として編集者の岡本仁を、「副編集長」として長年ニューヨークに暮らし、展覧会のキュレーションや執筆等で欧米の近現代の芸術文化を日本に伝えてきた河内タカを迎え、雑誌的アプローチの展覧会として、従来と異なる切り口で猪熊のニューヨーク時代の画業を紹介した。作品と、猪熊が撮った映像や写真、大量にストックしていたギャラリーの展覧会案内などの資料を展示、時代背景も含め展観した。





撮影：宮脇 慎太郎

制作物　館内配布用タブロイド紙

入場者数 **4,977**人

関連企画

親子でMIMOCAの日

７月10日（土）、11日（日）10時～18時
料　　金　無料
参加者数　265人
（「親子でMIMOCAの日」の詳細は36頁）

YouTube配信　岡本仁×河内タカ
ギャラリートーク（前編、後編）

配信期間　8月14日(土)～　（配信継続中）

YouTube配信　猪熊弦一郎撮影８ミリ動画

臨時休館に伴い、出品作の中から猪熊弦一郎が1960年代頃に８ミリカメラでニューヨークを撮影した映像3本（《文子一寸我家より顔　ポルトリコ》《雪》《Easter 1962 {only the beautiful girls and　hats}》）を期間限定で配信した。
配信期間　8月25日(水)～9月5日(日)
再生回数　351回

147　藤島武二と猪熊弦一郎展　サンプリシテとシンプル

会　　期　2021年９月18日(土)～12月５日(日)

※９月18日(土)～９月30日(木)は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館

会　　場　１階エントランス、３階展示室Ｃ

主　　催　丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団

藤島武二（1867-1943）は、明治、大正、昭和を通じて白馬会や文展、帝展を舞台に活躍し、日本近代洋画を牽引した一人であり、華やかな女性像や、理想の日の出を求めて描いた簡潔な表現の作品で知られる。同時に1896年に東京美術学校西洋画科助教授に就任して以降、多くの若者の指導にあたり、猪熊弦一郎（1902-1993）もその薫陶を受けて画家の道を歩み始めた。

猪熊は、30代後半での足掛け３年のパリ遊学、50歳を越えてからの約20年に及ぶニューヨークでの活動、その後ハワイと東京での制作と、拠点を変えながら描き続けた。その間、具象画から抽象画へと変化し、晩年には具象と抽象の枠を超えた作品を制作している。

藤島と猪熊の画風は異なるが、ともに重視していたことが「単純化」であった。それぞれ「サンプリシテ」、「シンプル」と言い、複雑なものをいかに簡潔に表すか、描こうとしている本質を表すためには何を取り除いて何を残すか、残したものをどのように組み立てて描くかを常に考えながら制作に取り組んでいる。

本展では二人がそれぞれの方法で「単純化」を推し進めながら描いた初期から晩年までの作品を紹介した。





撮影：宮脇 慎太郎

刊行物　カタログ

入場者数 **6,035**人

関連企画

藤島武二と猪熊弦一郎展プレゼント企画

９月18日(土)～９月20日(月・祝)
11時～16時
場所　３階カフェミモカ
(美術館は臨時休館。カフェミモカのみオープン)
プレゼント内容　藤島武二ポストカードと４色芯色鉛筆
プレゼント数　112セット

親子でMIMOCAの日

10月16日(土)、17日(日)10時～18時
料　　金　無料
参加者数　299人
(「親子でMIMOCAの日」の詳細は36頁)

YouTube配信「藤島武二と猪熊弦一郎展」ギャラリートーク

出演　杉戸洋
(画家、東京藝術大学美術学部絵画科准教授)
配信開始　11月26日(金)～　(配信継続中)

148 丸亀での現在

会　　期　2021年12月18日(土)～2022年３月21日(月・祝)

会　　場　３階展示室Ｃ

主　　催　丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団

助　　成　一般財団法人自治総合センター、芸術文化振興基金、公益財団法人花王芸術・科学財団、
一般財団法人百十四銀行学術文化振興財団

地方都市の一例として香川県丸亀市に焦点を当て、現代社会への独自の視座を持つアーティスト3組として、KOSUGE1-16、Nadegata Instant Party、旅するリサーチ・ラボラトリーの表現を紹介した。

2020年春、展覧会の準備段階早々にコロナ禍が本格化し、地域のリサーチが難しい状況を迎えた中で、全出品作家と美術館で協議を重ね、地域とアートの関わりを探りながら、これまでにない展覧会のあり方を試みた。

当館展示室の広い空間を存分に活用し、KOSUGE1-16による丸亀のリサーチや地域での日常生活から着想したインスタレーション、Nadegata Instant Partyによる丸亀と全国をオンラインで結ぶホームステイのプロジェクト、旅するリサーチ・ラボラトリーによる出品作家や本展のプロセスを対象にしたリサーチの試みを紹介。個々の表現者から構成される3組のコレクティブによる、丸亀でしかあり得ない「現在」を提示した。





Nadegata Instant Party《ホームステイホーム》2021年
撮影：青地大輔

刊行物　カタログ

制作物　会場図・作品リスト、子ども向けリーフレット

出品作家

KOSUGE1-16、Nadegata Instant Party（中崎透＋山城大督＋野田智子）、旅するリサーチ・ラボラトリー

入場者数 **4,340**人

関連企画

Nadegata Instant Party（中崎透＋山城大督＋野田智子）《ホームステイホーム》ホストファミリー募集説明会

10月3日（日）14時～15時30分
場　　所　オンライン（Zoom）
参加者数　10名

Nadegata Instant Party（中崎透＋山城大督＋野田智子）《ホームステイホーム》オリエンテーション

11月7日（日）10時～11時
場　　所　丸亀市市民交流活動センター
マルタス１階多目的ホール１
参加者数　11名

Nadegata Instant Party（中崎透＋山城大督＋野田智子）《ホームステイホーム》ホストファミリー募集説明会

11月7日（日）11時～12時
場　　所　丸亀市市民交流活動センター
マルタス１階オープンラウンジ
参加者数　40名
丸亀市市民交流活動センターマルタスとの共催により実施

Nadegata Instant Party（中崎透＋山城大督＋野田智子）《ホームステイホーム》オンライン・ホームステイ

11月13日（土）18時30分～20時30分、
11月14日（日）11時30分～12時30分
場　　所　オンライン（Zoom）
および美術館内
参加者数　91名

アーティスト・トーク

12月18日（土）13時～15時
会　　場　２階ミュージアムホール
講　　師　KOSUGE1-16、Nadegata Instant Party、旅するリサーチ・ラボラトリー
料　　金　無料
参加者数　60人

親子でMIMOCAの日

２月19日（土）、20日（日）10時～18時
料　　金　無料
参加者数　157人
（「親子でMIMOCAの日」の詳細は36頁）

Nadegata Instant Party（中崎透＋山城大督＋野田智子）《ホームステイホーム》上映会

2022年３月21日（月・祝）14時～16時10分
場　　所　２階ミュージアムホール
出　　演　Nadegata Instant Party
料　　金　無料
参加者数　57人

Ⅱ　展覧会事業

iii　常設展「猪熊弦一郎展」

猪熊弦一郎回顧展　2020年６月２日（火）～９月22日（火・祝）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2020年４月18日（土）～６月28日（日）より会期を変更

「アートってものはその時代の答えであると同時にその人の答えなんですね。」と語った猪熊の初期から晩年までの軌跡を紹介した。新たな試みとして全ての作品に短い説明文を添えて展示した。また、改修工事期間中に発見された、猪熊が幻の東京オリンピックに関係していたことを示す手紙類も展示した。

入場者数 **12,004**人

1930年代の具象表現　2020年10月13日（火）～2021年１月11日（月・祝）

シュルレアリスムや抽象主義などの新しい芸術運動が広く紹介され、日本が帝国主義国家としての道を歩んだ1930年代、猪熊は新制作派協会を結成するなど新進画家として活躍した。それまでの写実的な描写から、曲線やボリュームを強調して描く、など様々な変化を続けた猪熊の具象表現を紹介した。

入場者数 **8,050**人

ニューヨークでの画業　2021年１月23日（土）～３月７日（日）

猪熊が1955年から1975年まで制作の拠点にしたニューヨークでの画業を紹介した。展示室Ｂでは1964年までの作品を紹介し、展示室Ａでは1965年以降の作品とともに、猪熊が一時帰国した1966年、1969年に撮影された８mmフィルムの動画を初めて公開した。

入場者数 **3,432**人

パリの猪熊弦一郎と藤田嗣治　2021年３月20日（土・祝）～６月６日（日）

※５月11日（火）～５月31日（月）は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館

1939年にパリで親しくなった猪熊弦一郎と、エコール・ド・パリの画家として知られる藤田嗣治（ふじたつぐはる1886-1968）の交友を、両者の作品や書簡を通じて紹介した。藤田の手によるものは、どれも猪熊が生涯大切に保管していた品であり、その多くが初出品となった。

入場者数 **4,541**人

ハワイで見つけた色と形　2021年３月20日（土・祝）～６月６日（日）

※５月11日（火）～５月31日（月）は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館

1975年から制作の拠点を東京とハワイに移した猪熊の絵は、フレッシュな色彩になり、大胆な色面の構成が見られるようになる。特にピンクや紫、褐色が頻繁に使われるようになり、テーマも角と丸、宇宙など様々に変化した。新天地で新しい作品に向かって果敢にチャレンジを続けた、ハワイ時代前半の作品を紹介した。

入場者数 **4,541**人

関心を追って　2021年６月19日（土）～９月５日（日）

※８月17日（火）～９月５日（日）は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館

新しいものに興味を持ち、変わることを恐れなかった猪熊弦一郎（1902-1993）が、70年に及ぶ長い画業のなかで何をどのように描いてきたか、画風とモチーフの変遷に焦点を当てて紹介した。

入場者数 **5,563**人

デフォルマシオン　2021年９月18日（土）～12月５日（日）

※９月18日（土）～９月30日（木）は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館

猪熊はその画業の初期には写実的な絵画を描いていたが、しだいに新たな表現を求め、モチーフを変形して描く「デフォルマシオン」の方法を取り入れるようになった。本展では、こうした変形による表現の探求に焦点を当て、戦前から1955年の渡米までに描かれた作品を紹介した。

入場者数 **6,647**人

ＮＹでみた絵、かいた絵　2021年12月18日（土）～2022年３月21日（月・祝）

猪熊弦一郎のニューヨーク時代の画業を紹介。作品とともに、同時期にニューヨークで活躍していた他のアーティストたちの展覧会ポスターや案内状等も展示し、猪熊のニューヨーク時代の抽象表現を、時代背景とあわせて展観した。

入場者数 **5,440**人

Ⅱ　展覧会事業

ⅳ　その他事業

スタンプカード

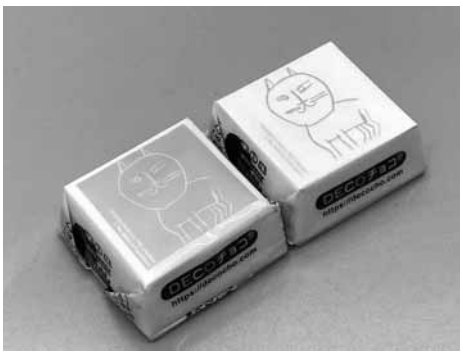
来館促進のために2021年度に試験的に実施。2021年6月から始まった展覧会「猪熊弦一郎展 いのくまさんとニューヨーク散歩」以降の本年度の３つの展覧会全てを鑑賞してスタンプを集めた18歳以上の来館者にはチョコレートを景品としてプレゼントした。今回見えてきたリピーター像を今後の来館促進策などに役立てる。

期間　　１年間有効

年度	丸亀市内	丸亀市外	合計
2021	80人	130人	210人







Ⅲ　教育普及事業

ⅰ　ワークショップ

子どもたちの豊かな感性と創造力を伸ばし、育むことを目的としてワークショップを開催した。ワークショップによってはボランティアを募集し、運営のご協力をお願いしている。

なお、2019年度のワークショップは「丸亀ここがMIMOCA キッズデイ」として開催した(「丸亀ここがMIMOCA」については「Ⅲ教育普及事業　ⅲ地域連携事業」参照)。改修工事による美術館休館中（2019年１月～）は、丸亀駅前の旧重元果物店および丸亀市内の公共施設を会場とした。

ワークショップ名	開催日時･会場	講　師	対　象	参加者	見学者	参加費	内　　容	展示期間･場所･観覧者数
３つの色のにじみを感じよう	2019年４月 ①20日(土) ②21日(日) 10時30分～12時 旧重元果物店	美術館スタッフ	２歳～高校生(未就学児は要保護者同伴)	①43人 ②51人	①１人 ②０人	無料	水で濡らした画用紙の上に筆で赤・青・黄の３色をのせ、にじみが生み出す色の変化を楽しむ。	
【丸亀お城まつり協力事業】 ○△□でぺたぺた、ミニこいのぼり	2019年５月 ①３日(金・祝) 10時～18時 ②４日(土・祝) 10時～16時 「丸亀城下町こだわり大物産展」(市民ひろば）内	美術館スタッフ、ボランティアスタッフ	子どもから大人まで（未就学児は要保護者同伴）	①279人 ②201人	０人	無料	こいのぼりのかたちの画用紙に、○△□の色紙やシールを貼ったり、スタンプを押したり、クレヨンで模様を描いたりする。	
アートな絵本を読んでお絵かきしよう	2019年５月 ①18日(土) ②19日(日) 10時30分～11時15分、13時30分～14時15分 旧重元果物店	美術館スタッフ	２歳～高校生(未就学児は要保護者同伴)	①17人 ②20人	①10人 ②13人	無料	絵本『いのくまさん』を読み、見つけたものや感じたことを話し合う。その後、絵本に出てきたものなどを画用紙にクレヨンで描く。	



３つの色のにじみを感じよう
（2019年４月）

ワークショップ名	開催日時・会場	講　師	対　象	参加者	見学者	参加費	内　　容	展示期間・場所・観覧者数
雨の日に変身！レインコートをつくろう	2019年６月 ①15日(土) ②16日(日) 10時30分～12時 丸亀市立綾歌図書館ギャラリー(綾歌市民総合センター２階)	美術館スタッフ、ボランティアスタッフ	２歳～中学生(未就学児は要保護者同伴)	①32人 ②25人	①28人 ②26人	無料	カラービニール袋にペンで絵を描いたり、テープやセロハンで飾り付けたりして、レインコートをつくる。	
うれしくなる時計をつくろう	2019年７月 ①21日(日) ②22日(月) 10時～12時、13時30分～15時30分 丸亀市飯山総合保健福祉センター２階会議研修室	美術館スタッフ、ボランティアスタッフ	５歳～高校生(未就学児は要保護者同伴)	①94人 ②77人	①67人 ②38人	200円	空き箱やダンボールを使って時計盤をつくり、針を取り付ける。その後、時計盤にペンで絵を描いたり、いろいろな素材を貼ったりして飾り付ける。	
思い出をつなげて飾ろう～手づくりガーランド～	2019年８月 ①24日(土) ②25日(日) 10時～12時、13時30分～15時30分 丸亀市保健福祉センター(ひまわりセンター) ４階研修会議室	美術館スタッフ	２歳～高校生(未就学児は要保護者同伴)	①22人 ②18人	①14人 ②18人	無料	千代紙などに好きな写真を貼ったり絵を描いたりして飾り付けたものを、ピンチで紐に取り付けてガーランドをつくる。	
おしゃれバッジをつくろう	2019年９月 ①21日(土) ②22日(日) 10時30分～12時 旧重元果物店	美術館スタッフ	２歳～高校生(未就学児は要保護者同伴)	①38人 ②40人	①29人 ②28人	無料	手のひらサイズの丸い段ボールの表面に布や色紙等を貼り付け、裏面にクリップピンを取り付けてバッジをつくる。	
おばけバッグでトリック・オアトリート！	2019年10月 ①19日(土) ②20日(日) 10時30分～12時 旧重元果物店	美術館スタッフ	２歳～高校生(未就学児は要保護者同伴)	①53名 ②46名	①35人 ②34人	無料	色画用紙をカボチャやコウモリなどの形に切り、ホチキスで綴じ合わせたり、紙コップに貼り付けたりしたあと、モールを取り付けて持ち手にし、ミニバッグをつくる。	
まちなかアートツアー	2019年11月 ①16日(土) ②17日(日) 10時30分～11時30分、13時30分～14時30分 旧重元果物店、丸亀駅周辺	美術館スタッフ	５歳～高校生(未就学児は要保護者同伴)	①６名 ②７名	①４人 ②５人	無料	スタッフ制作の案内マップを見て「いのくまさんのスケッチブック」(34頁参照)参加店舗を巡り、クイズやおしゃべりを楽しみながら展示物を鑑賞する。	



まちなかアートツアー
(2019年11月)

ワークショップ名	開催日時・会場	講　師	対　象	参加者	見学者	参加費	内　　容	展示期間・場所・観覧者数
自分だけのクリスマスツリーをつくろう	2019年12月 ①21日(土) ②22日(日) 10時30分～12時 丸亀市飯山総合保健福祉センター２階会議研修室	美術館スタッフ、ボランティアスタッフ	２歳～高校生(未就学児は要保護者同伴)	①30人 ②41人	①23人 ②28人	無料	画用紙にサンタやトナカイ、星などの絵を描いたあと、ツリー型に切って組み立て、色紙やモールで飾り付ける。	
野菜スタンプでお面を作ろう	2020年１月 ①18日(土) ②19日(日) 10時30分～12時 旧重元果物店	美術館スタッフ	２歳～高校生(未就学児は要保護者同伴)	①42人 ②29人	①32人 ②19人	無料	レンコン、ピーマン、オクラなどの切り口に絵の具をつけて画用紙にスタンプした後、顔の形に切り抜いてお面をつくる。	
つくって遊ぼう！にぎやかるた	2020年２月 ①15日(土) ②16日(日) 丸亀市綾歌図書館ギャラリー(綾歌市民総合センター２階)	美術館スタッフ	２歳～中学生(未就学児は要保護者同伴)	①13人 ②17人	①10人 ②12人	無料	色々なオノマトペが書かれたカードを引いて、自由に連想したものを描いた後、言葉をつけてかるたの札をつくる。最後は参加者同士でかるた遊びをする。	
貼って遊ぼうぺたぺた！じぶんのかたち	2020年３月21日(土)、22日(日) 10時30分～12時 丸亀市保健福祉センター（ひまわりセンター） ４階研修会議室	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止						
通常プログラム	2019年４月１日(月)－９月23日(月・祝)、11月７日(木)-2020年３月30日(月) 旧重元果物店(上記を含む) 【休業日】火曜日・水曜日、４月23日(火)～５月１日(水・祝)、９月24日(火)～11月６日(水)	美術館スタッフ	子どもから大人まで	2,604人	－	無料	常時どなたでも参加いただける３つのプログラム(MIMOCAでひとやすみ・造形体験・対話型鑑賞）を実施、またミュージアムショップのグッズ販売（出張ショップ）も行う。	※2020年２月29日(土)～３月30日(月)は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
瀬戸内国際芸術祭2019県内連携事業(上記を含む) 丸亀ここがMIMOCA in本島	2019年９月28日(土)-11月４日(月・振替休日) 真木邸[香川県丸亀市本島町笠島259]笠島まち並保存センター向かい	美術館スタッフ	子どもから大人まで	6,803人	－	無料	常時どなたでも参加いただけるプログラム(造形体験・対話型鑑賞）を実施、またミュージアムショップのグッズ販売（出張ショップ）も行う。	※10月12日(土)は、台風の為臨時休業



野菜スタンプでお面を作ろう
(2020年１月)

ワークショップ名	開催日時・会場	講　師	対　象	参加者	見学者	参加費	内　　容	展示期間・場所・観覧者数
みんなでミモカ　リオープンの飾りつけをしよう！	2020年４月 ①４日(土) ②５日(日) 10時～12時、13時30分～15時30分 ２階造形スタジオ、ゲートプラザ	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止						
ハンドプリントでつくる自分デザインの夏Tシャツ	2020年７月 ①23日(木・祝) ②24日(金・祝) ③25日(土) 10時～12時 ２階造形スタジオ	美術館スタッフ	５歳～高校生(小学３年生までは要保護者同伴)	①28人 ②29人 ③29人	①27人 ②22人 ③23人	500円	カッティングシートを好きな形に切ってメッシュ生地に貼り付け、簡易なシルクスクリーンの版を２種つくる。重ね刷りや複数箇所へのプリントを楽しみながら、オリジナルTシャツをつくる。	
まぜて・みがいて　キラキラ宝石せっけん	2020年８月 ①14日(金) ②15日(土) ③16日(日) 10時～12時 ２階造形スタジオ	美術館スタッフ	５歳～高校生(小学３年生までは要保護者同伴)	①28人 ②27人 ③30人	①19人 ②15人 ③21人	300円	加熱して溶かした透明の石鹸にラメや食紅を混ぜて数種の色付き石鹸をつくり、好きな順番で紙コップに流し入れて冷やし固めたら、カッターで削り宝石型にする。	
いのくまさんに挑戦！スケッチしてみよう	2020年９月 ①12日(土) ②13日(日) 10時～12時、14時～16時 ２階造形スタジオ、アートセンター	美術館スタッフ	小学生～大人	①26名 ②28名	①20人 ②26人	無料	猪熊の絵画作品を見て画用紙に鉛筆でスケッチをする。その後、絵具やクレヨンなどで色を塗ったり、模様を描いたりして完成させる。	
本物みたい！おいしそうなお弁当をつくろう	2020年10月 ①24日(土) ②25日(日) 10時～12時、14時～16時 ２階造形スタジオ	美術館スタッフ	３歳～小学生(未就学児は要保護者同伴)	①30人 ②38人	①24人 ②28人	300円	色付き紙粘土でおむすびや卵焼きなどの好きなメニューをつくり、箱につめ、ペーパーナプキン、フォークを添えてお弁当をつくる。	
つくってかざろう　ガラスアート	2020年11月21日(土) 10時～12時、14時～16時 ２階造形スタジオ	美術館スタッフ	小学生～大人	37人	31人	300円	ガラスプレートに透明な絵具で好きな絵を描いたあと、ラメやビーズで飾りつける。	



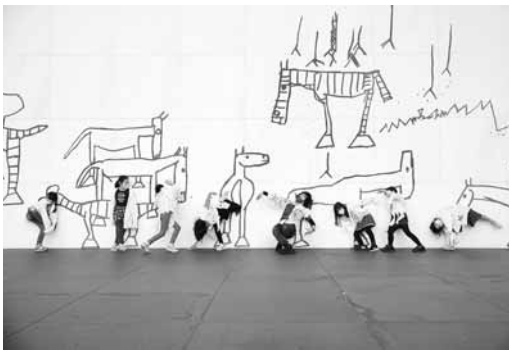
ハンドプリントでつくる自分デザインの夏Tシャツ
(2020年７月)

ワークショップ名	開催日時・会場	講　師	対　象	参加者	見学者	参加費	内　　容	展示期間・場所・観覧者数
【窓展：窓をめぐるアートと建築の旅】関連 西京国はどんなところ？	2020年12月19日(土) 10時～16時 ２階造形スタジオほか美術館内	西京人	中学生～大人	12人	1人	無料	企画展出品作家・西京人の制作のコンセプトを参考にして、グループで短い映像作品を制作する。	
光る！雪だるまをつくろう	2021年１月 ①30日(土) ②31日(日) 10時30分～12時、14時～15時30分 ２階造形スタジオ	美術館スタッフ	５歳～小学生 (未就学児は要保護者同伴)	①35人 ②38人	①26人 ②28人	300円	セロハンや画用紙で雪だるまの顔を作ってペットボトルに貼り付け、底にライトをはめこみ、雪に見立てた白い紙粘土を土台にして立たせる。	
【猪熊弦一郎展　色に注目！－赤・黄・青から見てみると？－】関連 ３つの色で描いてみよう　いのくまさんに挑戦！	2021年２月 ①20日(土) ②21日(日) 13時～15時30分 ２階造形スタジオ､アートセンター	美術館スタッフ	小学生～大人	①9人 ②16人	①1人 ②6人	無料	企画展の作品を猪熊の色づかいに注目して鑑賞した後、アートセンターに展示の猪熊作品をスケッチし、赤・黄・青の3色の絵具を主に使って着色する。	
トイレットペーパーがねんどに変身!	2021年３月 ①27日(土) ②28日(日) 10時30分～11時30分､14時～15時 ２階造形スタジオ	美術館スタッフ	３歳～小学生 (未就学児は要保護者同伴)	①37人 ②37人	①24人 ②30人	無料	トイレットペーパーをちぎって水とのりと混ぜ、粘土のようにやわらかくする。その感触を楽しみながら、形をつくったり、容器に入れたりして遊んでみる。	
【まみえる 千変万化な顔たち】関連 MIMOCAのわたしたち	2021年４月10日(土) 10時～14時30分 ２階造形スタジオほか	横山裕一	小学３年生～大人	16人	8人	無料	講師より作品制作のアイディアについてレクチャーを受け、展覧会を観覧する。その後、各自オリジナルの顔を考え、○△□の台紙を用いてお面をつくる。	2021年４月18日(日)～５月５日(水・祝) ２階造形スタジオ 406人
ものづくりワークショップ 左官職人になろう！	2021年６月 ①26日(土) ②27日(日) 10時30分～12時、14時～15時30分 ２階造形スタジオ	協力：香川県左官業組合連合会、四国化成工業株式会社	小学生～高校生	①25人 ②26人	①19人 ②21人	無料	左官職人にコテの使い方や塗りの技術技術を教えてもらい、300角のマスを壁と見立てて自分だけの壁作りをする。	※６月27日(日)は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため５月23日(日)より延期



【猪熊弦一郎展 色に注目！－赤・黄・青から見てみると？－】関連
３つの色で描いてみよう　いのくまさんに挑戦！
(2021年２月)

ワークショップ名	開催日時・会場	講　師	対　象	参加者	見学者	参加費	内　　容	展示期間・場所・観覧者数
ものづくりワークショップ 布で絵をつくる	2021年７月①３日(土)②25日(日) ８月③６日(金) ④７日(土)⑤８日(日) ９月⑥４日(土)⑦19日(日) 10時30分～12時、14時～15時30分 ２階造形スタジオ	美術館スタッフ	小学生～高校生	①27人 ②22人 ③29人 ④15人 ⑤16人 ⑥－ ⑦－	①25人 ②17人 ③20人 ④15人 ⑤14人 ⑥－ ⑦－	500円	布も立派な絵の具！猪熊弦一郎自らが作った作品をお手本にして、フェルトを○、△、□と自由に切り貼りして、キャンバス作品を制作する。	2021年８月12日(木)～15日(日) ２階造形スタジオ 296人 ※９月４日(土)19日(日)は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
カラダで表現！瀬戸フィルハーモニー交響楽団音楽ワークショップ 「ボディーパーカッションで音を生み出そう」	2021年７月17日(土) 10時30分～12時、14時～15時30分 ２階ミュージアムホール、造形スタジオ	瀬戸フィルハーモニー交響楽団	小学生～高校生	27人	26人	無料	自分の体を楽器にして音を生み出す。グループに分かれて、簡単な曲から難しい曲にステップアップして、最後は瀬戸フィルハーモニー交響楽団の演奏とセッションをする。何もないところから音を生み出す楽しさを体験する。	
カラダで表現！瀬戸フィルハーモニー交響楽団音楽ワークショップ 「音描く」	2021年10月２日(土) 10時30分～12時、14時～15時30分 ２階ミュージアムホール、造形スタジオ	瀬戸フィルハーモニー交響楽団	小学生～高校生	30人	29人	無料	参加者には曲名を知らせずに、1曲じっくり演奏を聴いてもらい、感じたことをクレヨンで表現する。描き終わったら、ミュージアムホールで作品を見せて何を感じたか発表してもらう。	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため８月28日(土)より延期
カラダで表現！瀬戸フィルハーモニー交響楽団音楽ワークショップ 「トランペットを作って演奏」	2021年11月27日(土) 10時30分～12時、14時～15時30分 ２階ミュージアムホール、造形スタジオ	瀬戸フィルハーモニー交響楽団	小学生～高校生	20人	15人	300円	ビニールのホースとクリアファイルだけを使って世界で一つのオリジナルトランペットを作る。音を鳴らす練習をした後、瀬戸フィルハーモニー交響楽団の演奏にあわせてトランペットをふく。	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため９月26日(日)より延期
ものづくりワークショップ 工学博士と橋をつくろう！	2021年10月 ①９日(土) ②30日(土) 11月③６日(土) ④28日(日) 12月⑤５日(日) 10時30分～12時、14時～15時30分 ２階造形スタジオ	松島学（香川大学名誉教授　工学博士）	小学生～高校生	①28人 ②25人 ③28人 ④25人 ⑤13人	①24人 ②18人 ③21人 ④21人 ⑤10人	無料	香川大学の松島博士に美しく耐力のある建築について教えてもらい、実際に輪ゴムと割り箸だけで耐力のある橋作りに挑戦する。	
んまつーポスのカラダ表現！ワークショップ	2021年 ①10月24日(日) ②11月13日(土) ③12月19日(日) 10時30分～12時30分 ２階ミュージアムホールほか	んまつーポス	①③小学生～高校生 ②年長	①25人 ②13人 ③26人	①17人 ②11人 ③23人	無料	んまつーポスに身体を動かす楽しさを教えてもらいながら、振り付けを自分で考える。ミュージアムホールを中心に、カスケードプラザやゲートプラザなど美術館全体を運動場にして、身体を動かし、飛び、踊る。	



んまつーポスのカラダ表現！ワークショップ
(2021年10月11月12月)撮影：福田ジン

ワークショップ名	開催日時・会場	講　師	対　象	参加者	見学者	参加費	内　　容	展示期間・ 場所・観覧者数
【丸亀での現在】関連 ミモカで野良工作！	2022年1月23日 (日)10時～16時 2階造形スタジオ ほか美術館内	KOSUGE1-16	小学生～高校生	13人	８人	無料	企画展出品作家のKOSUGE1-16の土谷享さんと一緒に、美術館を探検して誰も気づかない“余白”を見つける。探検後は段ボールやビニールを使って隠れ蓑を作り、見つけた“余白”に設置する。	
ものづくりワークショップ みんなでつくろう！宇宙都市	2022年２月 ①12日(土) ②13日(日) ３月 ③12日(土) ④13日(日) 10時30分～11時30分 13時30分～14時30分 15時30分～16時30分 2階造形スタジオ	美術館スタッフ	高校生以下	①18人 ②17人 ③16人 ④17人	①13人 ②13人 ③８人 ④12人	無料	独自の宇宙を描いた猪熊弦一郎のように想像力を駆使して、段ボールや牛乳パックなど身近にあるもので宇宙生物や建物を作る。	2022年３月18日 (金)～21日(月・祝) ２階造形スタジオ 339人
カラダで表現！ ノゾエ征爾　演劇ワークショッ	2022年３月 ①５日(土) ②６日(日) 10時30分～12時30分 2階造形スタジオ、ミュージアムホール、３階カスケードプラザ	ノゾエ征爾	高校生以下	①17人 ②17人	①10人 ②11人	無料	講師が用意した台本をもとにして、配役を考え、台詞を覚え、自分なりに身体で表現することを学ぶ。最後はミュージアムホールで１回きりの本番に挑戦する。	



ものづくりワークショップ　みんなでつくろう！宇宙都市
(2022年2月)

Ⅲ　教育普及事業

ii　スクールプログラム

1　学校等団体での来館

幼稚園・保育所・こども園・小学校・中学校・高校・大学・一般等の団体来館を対象とした、対話をしながらの作品鑑賞を行っている。教職員のご希望、生徒の興味、来館生徒数などに応じて団体ごとにプランを組み立てている。

2020年度

事　業　名	団体の種類	件数	来館者数 (引率者含む)
猪熊弦一郎展　アートはバイタミン 常設展　猪熊弦一郎回顧展 （開催期間：６月２日(火)～９月22日(火・祝)）	保育所 幼稚園 小学校 中学校 高校 大学 専門学校 養護学校 一般	0件 0件 5件 3件 3件 0件 0件 0件 4件	186人 91人
窓展-窓をめぐるアートと建築の旅 常設展　猪熊弦一郎展　1930年代の具象表現 （開催期間：10月13日(水)～１月11日(月・祝)）	保育所 幼稚園 小学校 中学校 高校 大学 専門学校 養護学校 一般	1件 2件 15件 1件 0件 0件 0件 0件 10件	527人 168人
猪熊弦一郎展　色に注目！ 　－赤・黄・青から見てみると？－ 常設展　猪熊弦一郎展　ニューヨークでの画業 （開催期間：１月23日(土)～３月７日(日)）	保育所 幼稚園 小学校 中学校 高校 大学 専門学校 養護学校 一般	1件 0件 7件 0件 0件 0件 0件 1件 0件	 253人
まみえる　千変万化な顔たち 常設展　パリの猪熊弦一郎と藤田嗣治 　　猪熊弦一郎展　ハワイで見つけた色と形 （開催期間：３月20日(土・祝)～３月31日(水)）	保育所 幼稚園 小学校 中学校 高校 大学 専門学校 養護学校 一般	0件 0件 0件 0件 0件 0件 0件 0件 0件	 0人
計		53件	1,225人

2021年度

事　業　名	団体の種類	件数	来館者数 (引率者含む)
まみえる　千変万化な顔たち 常設展　パリの猪熊弦一郎と藤田嗣治 猪熊弦一郎展　ハワイで見つけた色と形 （開催期間：４月１日(木)～６月６日(日)）※1	保育所 幼稚園 小学校 中学校 高校 大学 専門学校 養護学校 一般	0件 1件 3件 0件 0件 0件 0件 0件 0件	227人 0人
猪熊弦一郎展　いのくまさんとニューヨーク散歩 常設展　猪熊弦一郎展　関心を追って （開催期間：６月19日(土)～９月５日(日)）※2	保育所 幼稚園 小学校 中学校 高校 大学 専門学校 養護学校 一般	0件 0件 1件 3件 1件 0件 0件 0件 1件	146人 19人
藤島武二と猪熊弦一郎展　サンプリシテとシンプル 常設展　猪熊弦一郎展　デフォルマシオン （開催期間：９月18日(土)～12月５日(日)）※3	保育所 幼稚園 小学校 中学校 高校 大学 専門学校 養護学校 一般	0件 1件 15件 2件 2件 1件 0件 0件 5件	899人 164人
丸亀での現在 常設展　猪熊弦一郎展　NYでみた絵、かいた絵 （開催期間：12月18日(土)～2022年３月21日(月・祝)）	保育所 幼稚園 小学校 中学校 高校 大学 専門学校 養護学校 一般	0件 0件 0件 0件 4件 0件 0件 1件 4件	219人 68人
計		45件	1,742人

※1　５月11日(火)～５月31日(月)まで新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館
※2　８月17日(火)～９月５日(日)まで新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館
※3　９月18日(土)～９月30日(木)まで新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館

2 鑑賞教材貸出

鑑賞教材「ミモカ・アートカード」、映像教材「guén 猪熊弦一郎」(DVD・16分24秒)、大型図版「みんなのミカタ」、大型図版「みんなのミカタ2」の計4種類の教材を貸し出している。

貸出先は丸亀市内をはじめとする小学校・中学校・高等学校などの教育機関が主である。また、鑑賞教育や鑑賞教材についての研究などを目的に、大学や美術関連施設からの貸出依頼も見られ、幅広い対象へ貸出されている状況である。

年度	貸出施設数(延べ)	各教材の貸出件数				
		アートカード	ＤＶＤ	大型図版	大型図版2	合計(延べ)
2019年度	16	13	7	2	1	23
2020年度	16	14	7	3	3	27
2021年度	10	9	3	6	5	23
計	42	36	17	11	9	73



映像教材「guén 猪熊弦一郎」



鑑賞教材「ミモカ・アートカード」



鑑賞学習教材 大型図版「みんなのミカタ」



「ミモカ・アートカード」を使った授業の様子



鑑賞学習教材 大型図版「みんなのミカタ２」

3 博物館実習

博物館学芸員資格取得のために科目単位を履修中の方を受け入れ、収集・保管・展示、調査研究、教育普及等に関する実習を行っている。

	実 習 日 程	実習者数(人)
2019年度	長期休館のため、実施していない	0
2020年度	2020年８月４日(火)～８日(土)	4
2021年度	2021年８月５日(木)～９日(月)	6

4 職場体験

近隣の小学生・中学生・高校生を対象に実際に現場を体験して勤労観・職業観や社会的なマナーを身につけ、将来の進路選択につなげてもらえるよう、職場体験実習の受け入れを行っている。

2019年度

実 習 期 間	学 校 名	参加者数(人)
長期休館のため、受け入れ無し	－	0
計		

2020年度

実 習 期 間	学 校 名	参加者数(人)
2021年１月26日㈫・27日㈬	丸亀市立南中学校	3
計		3

2021年度

実 習 期 間	学 校 名	参加者数(人)
2021年11月９日㈫・10日㈬	丸亀市立飯山中学校	2
2022年１月26日㈬・27日㈭	丸亀市立綾歌中学校	0※
2022年２月３日㈭・４日㈮	丸亀市立西中学校	0※
計		2

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

5 ミモカキッズパスポート

猪熊は子どもたちとその作品を心から愛して止まなかった。そして、美しいものや楽しいものをたくさん見てもらうことで、感性豊かな人間に成長して欲しいと願っていた。当館では、1996年５月より高校生以下および18歳未満は入館無料としている。子どもたちが自主的に美術館を訪れ、様々な作品に触れる機会を多く持つことで、芸術に親しむ心が育まれることを願い、1997年７月よりミモカ キッズパスポートを製作・配布している。

展覧会を観覧したり、ワークショップに参加したりした子どもたちのパスポートにスタンプを押印し、スタンプを集めた数に応じて、オリジナル缶バッジや対話彫刻キットとエコバッグをプレゼントした。なお、2019年度は改修工事による長期休館のため、「丸亀ここがMIMOCA」に参加した人を対象に実施した。

期間　毎年４月から１年間有効

対象　2019年度

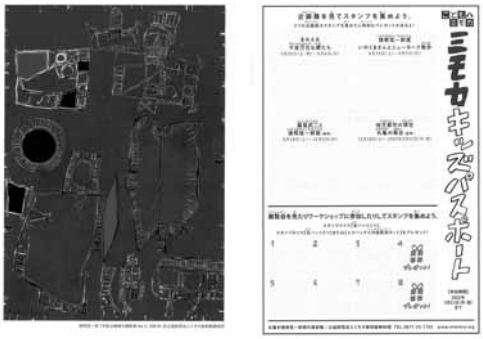
・高校生以下および18歳未満の「丸亀ここがMIMOCA」参加者で希望した人

2020年度以降

・市内保育所・幼稚園・小学生全員に配布。また、高校生以下または18歳未満の来館者で希望した人

ミモカキッズパスポート年間利用者数

	年間利用者数（人）
2019年度	1,292
2020年度	744
2021年度	990



2021年のミモカキッズパスポート

Ⅲ　教育普及事業

iii　地域連携事業

1　丸亀どこでもMIMOCA

美術館や猪熊について知る機会を積極的に提供し、より多くの方に来館してもらうための取り組みとして、2012年度より開始。丸亀市在住あるいは勤務の方を対象とし、地域コミュニティ、老人ホーム、企業等で概ね３名以上が集まれば、当館学芸員が訪問し、美術館や猪熊弦一郎、開催中の展覧会についてや、各学芸員の研究のテーマ等でレクチャーを行ったり、簡単な造形体験や、アートカードやスライドプロジェクター等での鑑賞を実施した（2017年までは10名以上からの申込としていたが、より多くの方に利用していただけるよう2018年度から人数を変更）。

2018年度からは、改修工事による長期休館を受けて、市内の幼稚園・保育園・子ども園・小学校・中学校も対象に加え、美術館や猪熊に関連する５つのテーマを設けて出張講座を実施した。また、2019年秋に丸亀市立資料館にて開催の当館所蔵資料による企画展「くらしの中の愛しき友　猪熊弦一郎の作品とコレクション」について、丸亀市民を対象としたギャラリートークも本事業の一環として受け付けた。

年度	利 用 団 体	美術館内（団体）	美術館外（団体）	計	利用人数
2019年度	おしろのまちの市春の市vol. 3 蓬莱歴史研究会 就業移行支援事業みなみ 栗林庵 ひつじが丘保育園 就業移行支援事業みなみ 香川短期大学 丸亀まちづくりとーくの会 いぬいっ子クラブ 瀬戸荘 城坤まちライブラリー 少林寺拳法丸亀城南スポーツ少年団 垂水小学校 岡田小学校 瀬戸内アートブックフェア 子どもと大人の医療センター　※丸亀市立資料館にて実施 城西小学校 丸亀少女の家 子育てフェスタ 産砂自治会 亀っ子ドンドン	0	21	21	1,566
計		0	21	21	1,566

※2020年２月29日（土）～３月31日（火）は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

2　丸亀ここがMIMOCA

2018年度から、館内および市内施設にて、より多くの方にMIMOCAを楽しんでいただくための事業「丸亀ここがMIMOCA」を開催した。2019年度の改修工事による休館期間中は丸亀駅前の旧重元果物店にて、「通常プログラム」として常時どなたでも参加いただける３つのプログラム（MIMOCAでひとやすみ・造形体験・対話型鑑賞）を実施した。旧重元果物店ではミュージアムショップのグッズ販売（出張ショップ）も行った。

また、毎月第３土曜日とその翌日の日曜日は「キッズデイ」として、18歳以下の子どもたちを対象にしたワークショップや対話型鑑賞などのプログラムを開催した（各月の「キッズデイ」の詳細は「Ⅲ教育普及事業　ｉワークショップ」参照）。

内　容	開　催　日	会　場	利用人数
キッズデイ	2019年４月20日（土）、21日（日） ５月18日（土）、19日（日） ６月15日（土）、16日（日） ７月21日（日）、22日（月） ８月24日（土）、25日（日） ９月21日（土）、22日（日） 10月19日（土）、20日（日） 11月16日（土）、17日（日） 12月21日（土）、22日（日） 2020年１月18日（土）、19日（日） ２月15日（土）、16日（日） ３月21日（土）、22日（日）	旧重元果物店 丸亀市立綾歌図書館ギャラリー 丸亀市飯山総合保健福祉センター 丸亀市保健福祉センター （ひまわりセンター） 丸亀駅周辺 市民ひろば	1,235
丸亀ここがMIMOCAプログラム参加者 （上記イベント等含む）	2019年４月１日（月）～９月23日（月・祝） 11月７日（木）～2020年３月30日（月）※1	旧重元果物店	2,604
	2019年９月28日（土）～ 11月４日（月・振替休日）※2	本島	6,803
計			10,642

※1　2020年２月29日（土）～３月30日（月）は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
※2　10月12日（土）は、台風の為臨時休業

3　ミモカシニアパスポート

当館では、丸亀市内在住の65歳以上の方は展覧会を無料で観覧することができる。このことをより広く周知し、市内の高齢者の方々に対して来館のきっかけをつくることを目的として、ミモカシニアパスポートを製作し、2017年12月より発行している。

発行後の有効期限は設けず、展覧会を観覧するたびにスタンプを１つ押印し、スタンプを10個集めた方には特典として猪熊作品のポストカードを贈呈した。

ミモカシニアパスポート年間利用者数

2019年度

展　覧　会　名	会　　期	利用者数
施設の長寿命化工事のため休館	－	－
計		0

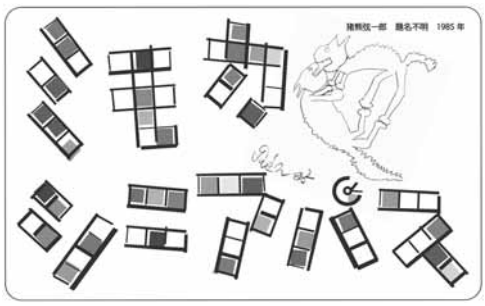
2020年度

展　覧　会　名	会　　期	利用者数
猪熊弦一郎展　アートはバイタミン	６月２日(火)～９月22日(火・祝)	352
窓展　窓をめぐるアートと建築の旅	10月13日(火)～１月11日(月・祝)	276
猪熊弦一郎展　色に注目！－赤・黄・青から見てみると？－	１月23日(土)～３月７日(日)	154
まみえる　千変万化な顔たち	３月20日(土・祝)～６月６日(日)※1	109
計		891

2021年度

展　覧　会　名	会　　期	利用者数
猪熊弦一郎展 いのくまさんとニューヨーク散歩	６月19日(土)～９月５日(日)※2	116
藤島武二と猪熊弦一郎展 サンプリシテとシンプル	９月18日(土)～12月５日(日)※3	215
丸亀での現在	12月18日(土)～2022年３月21日(月・祝)	141
計		472

※1　５月11日(火)～５月31日(月)は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館
※2　８月17日(火)～９月５日(日)は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館
※3　９月18日(土)～９月30日(木)は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館



ミモカシニアパスポート

４　いのくまさんのスケッチブック　アートはバイタミン

猪熊弦一郎がスケッチブックに描いた作品の精巧な複製画を制作し、丸亀市内全域の商店や飲食店等に展示した。

猪熊は、美術館を「病院」とするならば家で見る絵は「ビタミン剤」のようなものだと語ったことがあり、この考えを基に、暮らしの中で気軽にアートに親しむ場をつくることを目的として本事業を開催した。

また、猪熊がスケッチブックに描いた作品には自然体な姿や実験的な試みが見られカンヴァス作品とは異なる面白さがあるものの、これまで展示の機会が少なかったが、本事業を通して多くの方に様々な猪熊作品に触れていただいた。

展示にあたっては、市内全域の飲食店等に協力を仰ぎ(2021年度については一部公募)、当館広報物や猪熊関連書籍等も設置していただいた。

第１弾（2019年９月28日(土)－2020年３月31日(火)）
1970年代～80年代のスケッチブックより、明るく鮮やかな色づかいが魅力的なものを31点選定。

店舗名	住所	複製元作品作品名	複製元作品制作年
丸亀ミロクブルワリー	北平山町2-5-15	題名不明	1982
WILD FINGER SOS	大手町3-11-13	題名不明	1980
本格手打うどん つづみ	通町52-2	題名不明	1980
麺処 綿谷 丸亀店	北平山町2-6-18	よろこびの会合	1980
OIKAZE SHOP/まるがめチャコリスタンド	通町35-2	題名不明	1982
御菓子司 寳月堂	米屋町16	題名不明	1980
café la taupe	通町28-3	題名不明	1977
菓子屋キノシタ	浜町46-1	二つの車輪	1980
炭火焼とり わきや	通町11	題名不明	1980
Bouffier la rue	南条町1-1 丸亀ビル1F	題名不明	1982
BAKERY TRE API	通町139-1 藤澤ビル1F	題名不明	1981
中華そば三丁目	浜町115-3	題名不明	1981
Honjima Stand	本島町泊494-16	題名不明	1977
Gallery&Cafe 吾亦紅	本島町笠島312	題名不明	1979
ラトリエ・ル・マ	三条町526-7	題名不明	1980
BUBUCANE	田村町1766-10	題名不明	1981
ウーフ	土器町西5-88	題名不明	1982
ながぐつ	土器町東9-138	題名不明	1980
旅ベーグル	中津町979	題名不明	1982
カラシヤクラシック	原田町1586-1	題名不明	1977
felice	柞原町1075-5	題名不明	1980
純手打うどん よしや	飯野町東二343-1	題名不明	1980
PIZZERIA CON CUORE	飯野町東二342-1	題名不明	1980
明水亭	垂水町956-2	題名不明	1981
坂元珈琲	飯山町西坂元936-5	題名不明	1981
楓	飯山町東小川1252-1	題名不明	1980
汐さぎ!庵	綾歌町栗熊西1782-2	題名不明	1980
レストラン シェ・ナガオ	綾歌町栗熊西1127	題名不明	1980
KITOKURAS	綾歌町栗熊東3600-5	題名不明	1981
しあわせのパンとカフェ　はるくもsun.	綾歌町栗熊西1620-4	題名不明	1980
旧重元果物店	浜町115-2	題名不明	1977

第２弾（2020年11月10日(火)－2021年10月31日(日)）
晩年に描かれたスケッチブックより、顔・鳥・犬・いろいろな形をテーマに15点選定。

店舗名	住所	複製元作品作品名	複製元作品制作年
酒亭うり	通町154-1	犬19　野犬集合	1991
まる	浜町71-4	題名不明	1990
Grill ENMA	富屋町31	題名不明	1988
みきCafe	塩飽町19-5	鳥の家族	1990
ぶつぎりたんちゃん 丸亀店	西本町1-2-33	題名不明	1988
ピボットカフェ	風袋町159-18	草むらと花	1990
手打うどん 丸亀渡辺	土器町東1-97	犬18　ピンク	1992
則包商店	中府町5-9-14	題名不明	1988
Kitchen Nico	今津町723-35	鳥達のスケジュール	1990
the Old Tjikko coffee and dining	川西町北518-1	フレンズ	1990
パティスリー3621	飯山町真時490-5	青い五匹の犬	1991
森のPizza Lodge	飯山町東坂元3154-1	タツー	1991
小豆カフェあんこ	綾歌町富熊399-3	題名不明	1988
あやうた製麺	綾歌町岡田西1785	題名不明	1992
麦香うどん	綾歌町岡田上1898-3	題名不明	1989

第３弾（2021年11月１日(月)－2024年３月31日(日)）
「ＮＹからハワイへ」というテーマで、制作拠点をニューヨークからハワイに移した転換期のスケッチブックから10点選定。

店舗名	住所	複製元作品作品名	複製元作品制作年
ビストロアンジェ	本町26-1	題名不明	1974
富屋珈琲店	富屋町7-1	題名不明	1976
みそしゃぶ専門店 でんでん太鼓	富士見町1-4-25	題名不明	1976
fog -Life with nature-	今津町103	題名不明	1974
pâtisserieカキノキ	中府町2-2-16	題名不明	1977
パン屋ゆうぱん	郡家町3389-1	題名不明	1977
okasinoie オカシノイエ	郡家町3444 1F西	題名不明	1975
インテリアダイシン	飯野町東二628-1	題名不明	1975
和菓子・洋菓子のきさらぎ　本店	飯山町東坂元107-3	題名不明	1975
手打ちうどん　海侍	飯山町東坂元2710-5	題名不明	1975

※上記のうち、展示継続を希望する店舗にて2024年３月末まで展示予定。
※店舗情報は、各年度実施時点のもの。最新情報は美術館ＨＰに掲載。



複製画展示風景

5　親子でMIMOCAの日

猪熊弦一郎はMIMOCAの設立計画にあたり、子どもが美にふれることを重視し、当館では高校生以下または18歳未満の子どもの観覧料を無料としてきた（開館から平成８年までは小学生以下無料）。「親子でMIMOCAの日」は、子どもの多くが保護者の方と一緒に来館する事情を反映し、同伴者の観覧料も無料となる日を設けることで、子どもたちが芸術に触れる機会をより多く提供することを目的に開始した。

2020年度・2021年度は各展覧会ごとに「親子でMIMOCAの日」を設定し、高校生以下または18歳未満の観覧者１名につき、同伴者２名まで観覧無料とした。

2020年度

開催日	利用人数
2020年６月21日（日）	489
11月14日（土）	117
11月15日（日）	192
2021年２月13日（土）	129
２月14日（日）	167
計	1,094

2021年度

開催日	利用人数
2021年４月３日（土）	83
４月４日（日）	195
７月10日（土）	100
７月11日（日）	165
10月16日（土）	95
10月17日（日）	204
2022年２月19日（土）	87
２月20日（日）	70
計	999

Ⅲ　教育普及事業

ⅳ　イベント

※料金は全て無料

パブリックプログラム

リオープン記念　観覧料無料デー+色鉛筆プレゼント

日　　時　2020年４月18日(土)～４月19日(日)
主　　催　丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

リオープン記念　キュレーターズ・トーク・リレー

日　　時　2020年４月18日(土)～４月19日(日)
会　　場　美術館内
主　　催　丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

スクールプログラム

令和２年度　新春年賀版画・絵手紙展

日　　時　2021年２月３日(水)～10日(水)
会　　場　２階造形スタジオ
主　　催　丸亀市造形教育研究会
共　　催　丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団
入場者数　2,097人

令和３年度　新春年賀版画・絵手紙展

日　　時　2022年２月２日(水)～９日(水)
会　　場　２階造形スタジオ
主　　催　丸亀市造形教育研究会
共　　催　丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

地域連携事業

開館29周年記念　感謝メッセージ投影

日　　時　2020年11月19日(木)～11月23日(月・祝)
会　　場　１階ゲートプラザ
主　　催　丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団
入場者数　511人

2020年度丸亀市若手芸術家支援事業
馬渕晃子展　かすかなカタチ

日　　時　2021年３月２日(火)～３月７日(日)
会　　場　２階造形スタジオ
主　　催　丸亀市、丸亀市文化振興事業協議会、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、
公益財団法人ミモカ美術振興財団
入場者数　666人

2020年度丸亀市若手芸術家支援事業
馬渕晃子展　かすかなカタチ　アーティストトーク

日　　時　2021年３月６日(土) 14時～14時20分
会　　場　２階造形スタジオ
主　　催　丸亀市、丸亀市文化振興事業協議会、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、
公益財団法人ミモカ美術振興財団
入場者数　20人

丸亀市市民交流活動センターマルタス共同ワークショップ
手を使って描いてみよう

日　　時　2021年４月17日(土) 10時～12時、14時～16時
会　　場　丸亀市市民交流活動センターマルタス　屋外広場
主　　催　丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団、
丸亀市市民交流活動センターマルタス
入場者数　146人

丸亀市市民交流活動センターマルタス共同ワークショップ
大人こそ！アートで遊ぼう

日　　時　2021年５月14日(金) 18時30分～19時30分、５月15日(土) 14時～15時
会　　場　丸亀市市民交流活動センターマルタス１階　88の棚スペース
主　　催　丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団、
丸亀市市民交流活動センターマルタス
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

丸亀市市民交流活動センターマルタス共同ワークショップ
手を使って描いてみよう

日　　時　2021年８月13日(金) 10時～15時
会　　場　丸亀市市民交流活動センターマルタス　１階オープンラウンジ
主　　催　丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団、
丸亀市市民交流活動センターマルタス
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館開館30周年記念
「NHK　かがわ絵顔プロジェクト」MIMOCAと顔を描こう！

日　　時　2021年６月11日(金)～６月13日(日)
10時～10時45分、11時～11時45分、14時～14時45分、15時～15時45分、
17時～17時45分、18時～18時45分
会　　場　丸亀市市民交流活動センターマルタス　１階オープンラウンジ
主　　催　ＮＨＫ高松放送局、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団、
丸亀市市民交流活動センターマルタス
入場者数　88人

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館開館30周年記念
「NHK　かがわ絵顔プロジェクト」展示

日　　時　2021年８月７日(土)～22日(日)
会　　場　【高松会場】JR高松駅　イベント広場、高松空港　旅客ターミナルビル２階　国際線出発ロビー、ＮＨＫ高松放送局　１階ロビー
日　　時　2021年８月７日(土)～16日(月)
会　　場　【その他会場】道の駅源平の里むれ
日　　時　2021年８月12日(木)～15日(日)
会　　場　【丸亀会場】丸亀市市民交流活動センターマルタス　１階多目的ホール、JR丸亀駅
１階コンコース、ＦＡＣＥ21（通町商店街内)、秋寅の館（通町商店街内）
主　　催　ＮＨＫ高松放送局、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団
共　　催　丸亀市、丸亀市市民交流活動センターマルタス
入場者数　958人（【丸亀会場】のみ）

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館開館30周年記念
「NHK　かがわ絵顔プロジェクト」映像上映

日　　時　2021年８月13日(金)～15日(日)
会　　場　丸亀市猪熊弦一郎現代美術館ゲートプラザ
主　　催　ＮＨＫ高松放送局、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団
入場者数　475人

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館開館30周年記念
井上涼×「ＮＨＫかがわ絵顔プロジェクト」スペシャルステージ

日　　時　2021年８月15日(日)11時～、13時30分～
会　　場　丸亀市猪熊弦一郎現代美術館　２階ミュージアムホール
出　　演　井上涼、塩﨑実央
主　　催　ＮＨＫ高松放送局、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団
入場者数　139人

開館30周年記念イベント
無料開館

日　　時　2021年11月20日(土)、21日(日)、23日(火・祝)
会　　場　丸亀市猪熊弦一郎現代美術館
主　　催　丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団
入場者数　1,364人

開館30周年記念イベント
「猪熊先生をかこう！」作品展示

日　　時　2021年11月20日(土)～2022年１月31日(月)
会　　場　２階造形スタジオ
主　　催　丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団
入場者数　1,532人

MIMOCAマルシェ

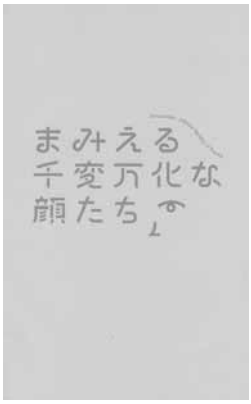
日　　時　2021年11月27日(土)
会　　場　１階ゲートプラザ
主　　催　丸亀市、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団、
丸亀市文化振興事業協議会
監　　修　まちのシューレ963
入場者数　1,000人

Ⅲ　教育普及事業

v　刊行物一覧

v－i　当館発行

2021年３月





まみえる　千変万化な顔たち

内　　容　Vol.1　ご挨拶／私とあなた／関わりの顔／顔にあそぶ／略歴
　　Vol.2　私とあなた／関わりの顔／顔にあそぶ／
　　竹崎瑞季「まみえる、くり返し」
執筆・編集　竹崎瑞季（丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団）
デザイン　宮越里子
翻　　訳　ブライアン・アムスタッツ
会場撮影　KEI OKANO
印　　刷　香川印刷株式会社
仕　　様　A4変形（297mm×185mm）2冊組（vol.1 78ページ、vol.2 48ページ）　ケース入り
発　　行　丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団
発行部数　500部
価　　格　1,800円（税抜）

2021年６月



FEELIN´GROOVY!
いのくまさんとニューヨーク散歩（タブロイド紙）

内　　容　猪熊弦一郎直筆メモ /岡本仁「いのくまさん、ニューヨークへ。」/ウィラード・ギャラリーの招待状。/河内タカ「ニューヨークアートシーンといのくまさん。」/Shooting a lot of 8mm Film/いのくまさんが愛したニューヨーク建築。/いのくまさんのニューヨーク散歩道。/ニューヨークでの制作。/いのくまさんのアパートとアトリエ。/アトリエの窓より。/ニューヨークの友人たち＆訪問者たち。/いのくまさん、壁を撮る。/ニューヨークからの定期便。/Chronology 1955-1975 /猪熊弦一郎《Lively Street》1964
編　　集　岡本仁、河内タカ
デザイン　江藤公昭、水内実歌子（PAPIER LABO.）
編集協力　古野華奈子
仕　　様　タブロイド判　32ページ
発　　行　丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団
発行部数　1,500部
価　　格　1,000円（税抜）

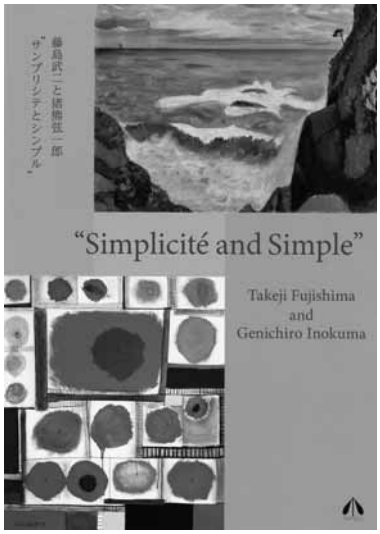
2021年11月



MIMOCA開館30周年　どこにもない美術館を目指して

内　　容　瀬戸大橋時代のまちづくり/丸亀市の美術館計画/猪熊先生を訪ねる/猪熊先生の日記/「猪熊美術館」と金子知事/「猪熊美術館」の実現に向かって/猪熊先生と丸亀市長の会談/猪熊記念美術館の発表/美術館建設懇談会/どこにもない美術館/市民ギャラリー計画/猪熊先生と建築/画家と建築家の共同作業/壁画「創造の広場」/「ゲタ」のモニュメント/子どもを大切にする美術館/美術館と周辺の都市デザイン/美術館の完成と周辺の事業/先生の作品などの寄贈/美術館の運営と財団の設立/三つの美術館の不思議な縁/心友イサム・ノグチ/イサム・ノグチさんの計画/猪熊先生の最後の五日間/全国の美術館ベスト五位/美術館の沿革/美術館の受賞歴/猪熊弦一郎先生のこと（年譜）/建築家・谷口吉生さんのこと
著　　者　長原孝弘（丸亀市猪熊弦一郎現代美術館　館長）
編集・発行　丸亀市猪熊弦一郎現代美術館
仕　　様　B5　51ページ
装　　丁　前田奈津子
印　　刷　株式会社日柳印刷所
発行部数　5,000部
価　　格　無料

2022年 3 月



藤島武二と猪熊弦一郎展　サンプリシテとシンプル

内　　容　ごあいさつ／作品図版／松村円「藤島武二と猪熊弦一郎、それぞれの単純化」／主な参考文献／略歴／出品作品リスト
編　　集　松村円
仕　　様　B5　80ページ
デザイン　黒田益朗（Kuroda Design）
印　　刷　香川印刷株式会社
発　　行　丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 公益財団法人ミモカ美術振興財団
発行部数　500部
価　　格　1,500円（税抜）

2022年 3 月



丸亀での現在
In Marugame - At the Moment - Three Artist Collectives

内　　容　調査報告　第4号　ふたつの島　KOSUGE1-16×Nadegata Instant Partyに関する比較論考　「丸亀での現在」プロセス記録
①展覧会開幕前の記録：「丸亀での現在」プロセス記録について／映像フィールドノート2021.12.14／映像フィールドノート2021.12.15／映像フィールドノート2021.12.16／映像フィールドノート2021.12.17
②展覧会カタログ：ご挨拶／フロアマップ／出品作品情報／KOSUGE1-16／Nadegata Instant Party（中崎透＋山城大督＋野田智子）／旅するリサーチ・ラボラトリー／竹崎瑞季「丸亀での現在」解題／作家略歴／謝辞
③展覧会開幕後の記録：KOSUGE1-16 インタビュー（聞き手：旅するリサーチ・ラボラトリー）／Nadegata Instant Party インタビュー（聞き手：旅するリサーチ・ラボラトリー）
企画・編集　旅するリサーチ・ラボラトリー
執　　筆　旅するリサーチ・ラボラトリー、石川卓磨、竹崎瑞季
編集協力　竹崎瑞季、須鼻美緒（株式会社モーイ）
仕　　様　B5　152ページ　ケース付き
デザイン　丸山晶崇（旅するリサーチ・ラボラトリー／株式会社と）
会場撮影　青地大輔（ブルーワークス PHOTO & DESIGN Office）
印　　刷　本体・カバー：藤原印刷株式会社
　　レンチキュラーカード：株式会社マル・ビ
発　　行　丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 公益財団法人ミモカ美術振興財団
発行部数　500部
価　　格　2,000円（税抜）

v-ii　その他関連刊行物

2019年11月



窓展　窓をめぐるアートと建築の旅

内　　容　謝辞/ごあいさつ/窓の世界/窓からながめる建築とアート/窓の20世紀美術Ⅰ/窓の20世紀美術Ⅱ/窓からのぞく人Ⅰ/窓の外、窓の内：奈良原一高〈王国〉/世界の窓：西京人《第3章：ようこそ西京に―西京入国管理局》/窓からのぞく人Ⅱ：ユゼフ・ロバコフスキ《わたしの窓から》/窓からのぞく人Ⅲ：タデウシュ・カントル《教室－閉ざされた作品》/窓はスクリーン/窓の運動学/窓の光/窓は希望：ゲルハルト・リヒター《8枚のガラス》/窓の家：藤本壮介《窓に住む家/窓のない家》/蔵屋美香「窓からの眺め、リミックス」/五十嵐太郎「ピクチャー＝ウインドウ論－絵画とは窓である」/作家略歴/出品リスト/クレジット/展覧会情報
企　　画　蔵屋美香（東京国立近代美術館）、五十嵐太郎（東北大学教授/建築史・建築批評家/「窓学」総合監修）
翻　　訳　クリストファー・スティーヴンス、ルース・S・マクレリー（ワード・ワークス）
ブックデザイン　田部井美奈（田部井美奈デザイン）、田村奈緒
編集・制作　蟹沢格（平凡社）、出原日向子
編　　者　東京国立近代美術館
仕　　様　B5　206ページ
発 行 者　下中美都
発 行 所　株式会社平凡社
印刷・製本　株式会社サンエムカラー
価　　格　2,500円（税抜）
ISBN 978-4-582-20718-7

Ⅲ　教育普及事業

vi　美術図書室利用状況

2019年度　施設の長寿命化工事のため休室

2020年度

月	入室者	累計	日数	平均	
2020年　4月	0	0	0	0	
5月	0	0	0	0	
6月	0	0	1	0	※
7月	308	308	27	11	
8月	329	637	26	13	
9月	309	946	20	15	
10月	169	1,115	17	10	
11月	208	1,323	25	8	
12月	132	1,455	21	6	
2021年　1月	150	1,605	18	8	
2月	306	1,911	24	13	
3月	218	2,129	16	14	

195日　2,129人（平均 10人）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため6月30日より開室

2021年度

月	入室者	累計	日数	平均	
2021年　4月	152	152	26	6	
5月	88	240	8	11	※1
6月	119	359	16	7	
7月	337	696	27	12	
8月	219	915	13	17	※2
9月	0	915	0	0	※3
10月	255	1,170	27	9	
11月	232	1,402	25	9	
12月	117	1,519	11	11	
2022年　1月	224	1,743	26	9	
2月	164	1,907	23	7	※4
3月	177	2,084	19	9	

221日　2,084人（平均 9人）

※1　5月11日～5月31日は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休室
※2　8月17日～9月5日は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休室
※3　9月18日～9月30日は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休室
※4　2月18日は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休室

Ⅲ　教育普及事業

vii　MIMOCA FRIEND（ミモカフレンド）

美術館で開催する展覧会、講演会などの事業を通して、猪熊芸術及び内外の現代美術に親しむことを目的として1995年４月に発足した。MIMOCA FRIEND（ミモカフレンド）という名称は猪熊が考案したものである。

2013年７月より、会員種目を個人、ペア、法人と新たに設定し、特典や年会費、会員期間も変更した（旧制度については年報2009-2010参照）。

会員特典

特典/会員証発行枚数	個人会員／1枚	ペア会員／2枚	法人会員／5枚
常設展の鑑賞無料（会員証提示）	○	○	○
企画展招待券（企画展毎）	2枚	4枚	10枚
美術館の情報お届け	○	○	○
ミュージアムショップの利用10％OFF	○	○	○
カフェMIMOCAの利用10％OFF	○	○	○
高松市美術館主催の展覧会観覧料2割引	○	○	○
企画展カタログの送付（企画展毎）	-	-	1冊
内覧会・レセプションへの招待	-	-	○
法人名を当館ホームページ等に記載	-	-	○

会員期間

入会受付月から１年間

（ご入会日から翌年の同月末日まで）

年会費

個人会員　3,000円

ペア会員　5,000円

法人会員　30,000円

会員数

2019年度会員　個人182名、ペア15組30名、法人９社

2020年度会員　個人269名、ペア25組50名、法人12社

2021年度会員　個人240名、ペア21組42名、法人12社



会員募集案内



会員証

Ⅳ 美術作品整理・管理

i 貸出し

作品名	制作年	作者	技法・材質	貸出先	貸出期間	展覧会名等
						2019年度(平成31年度/令和元年度)
黄色いスカートの婦人	1946	猪熊弦一郎	油彩・カンヴァス	石川県立美術館	2019年 4月12日～ 6月20日	「脇田和と猪熊弦一郎～モダンの展開～」 会期：4月20日～6月9日 会場：石川県立美術館
猫と子供	1951		油彩・カンヴァス			
からす	1953		油彩・カンヴァス			
Calm	1956		油彩・カンヴァス			
City Planning (D)	1964		アクリル・カンヴァス			
The City (Green No.2)	1968		アクリル・カンヴァス			
Landscape GT	1972		アクリル・カンヴァス			
ターゲット達と三角	1979		アクリル・カンヴァス			
顔47	1988		アクリル・カンヴァス			
飛ぶ日のよろこび	1993		アクリル・カンヴァス			
題名不明	1988	猪熊弦一郎	インク、アクリル、鉛筆、コラージュ・紙	泉美術館	2019年 4月21日～ 6月8日	「画家の愛した動物たち」 会期：4月25日～6月2日 会場：泉美術館
楽しい家族	1989		アクリル・紙			
不思議なる会合	1990		アクリル・カンヴァス			
題名不明	1991		アクリル・紙			
題名不明	1991		インク・紙			
草	1991		アクリル、コラージュ・紙			
題名不明	1992		鉛筆・紙			
風車と鳥	1993		アクリル・カンヴァス			
題名不明	不詳		鉛筆・紙			
題名不明	不詳		鉛筆・紙			
題名不明	不詳		インク・紙			
題名不明	不詳		色鉛筆・紙			
対話彫刻　10点	-		ミクストメディア			
題名不明	1938	猪熊弦一郎	油彩・厚紙	四国村ギャラリー	2019年 4月8日～ 9月12日	「猪熊弦一郎展　私の好きなもの」 会期：Pat1/4月26日～7月13日 Pat2/7月19日～9月8日 会場：四国村ギャラリー
題名不明	1938		油彩・カンヴァス			
モロッコタピスリー売る男	1938		油彩・カンヴァス			
ハンガリーの少女	1939		油彩・カンヴァス			
セロを弾く男	1939		油彩・カンヴァス			
魚と女	1939		油彩・カンヴァス			
題名不明	1939頃		油彩・厚紙			
着衣　バレリーナ	1946		油彩・カンヴァス			
青い服	1949		油彩・カンヴァス			
箱の中の小猫	1949		油彩・カンヴァス			

作 品 名	制作年	作者	技法・材質	貸出先	貸出期間	展覧会名等
2019年度(平成31年度/令和元年度)						
静物	1950	猪熊弦一郎	油彩・カンヴァス	四国村ギャラリー	2019年 4月8日～ 9月12日	「猪熊弦一郎展　私の好きなもの」 会期：Pat1/4月26日～7月13日 Pat2/7月19日～9月8日 会場：四国村ギャラリー
妻と赤い服	1950		油彩・カンヴァス			
Haniwa 1	1956		油彩・カンヴァス			
都市計画	1962～63		油彩・カンヴァス			
City Planning (B)	1964		油彩・カンヴァス			
Blue Streets	1966		アクリル・カンヴァス			
Water Shores B	1970		アクリル・カンヴァス			
Landscape BY	1972		アクリル・カンヴァス			
Rainbow Z2	1976		アクリル・カンヴァス			
角と丸 BX	1977		アクリル・カンヴァス			
立体クラブ	1978		アクリル、シール、鉛筆・紙			
楽しい凧	1978		アクリル・コラージュ、紙			
走る風景	1978		アクリル・紙			
静かなる森	1978		アクリル、コラージュ・紙			
スケッチブック《アリゾナとカチナドール》より8点	1979		墨・紙			
題名不明	1980		アクリル、鉛筆、コラージュ・紙（小包封筒）			
宇宙に帰る人	1983		アクリル・カンヴァス			
限界帯	1984		アクリル・カンヴァス			
アリゾナ通信	1984		アクリル・カンヴァス			
創成期の生物達	1985		アクリル・カンヴァス			
風車と発芽	1985		アクリル、コラージュ・カンヴァス			
ロボット休息	1987		アクリル・カンヴァス			
顔20	1989		アクリル・カンヴァス			
顔20B	1989		アクリル・カンヴァス			
顔20D	1989		アクリル・カンヴァス			
二人の裸婦と一つの顔	1989		アクリル・カンヴァス			
9裸婦 15顔 2鳥	1990		アクリル・カンヴァス			
建築と裸婦	1990		アクリル・カンヴァス			
鳥とドール	1990		アクリル・カンヴァス			
横顔	1992		陶板			
対話彫刻　46点	–		ミクストメディア			
猪熊弦一郎のコレクション　46点	–	–	–			
題名不明	1911頃	猪熊弦一郎	インク・紙	島根県立石見美術館	2019年 7月2日～ 9月6日	「猪熊弦一郎展　いのくまさん」 会期：7月13日～9月1日 会場：島根県立石見美術館
題名不明	1912頃		インク・紙			
題名不明	1912頃		インク・紙			
題名不明	1912頃		水彩、鉛筆・紙			
題名不明	1913頃		インク・紙			
題名不明	1916		鉛筆・紙			
題名不明	1917		水彩、鉛筆・紙			
題名不明	1917		水彩、鉛筆・紙			
題名不明	1919		水彩、鉛筆・紙			
自画像	1921		油彩・カンヴァス			
自画像	1921		油彩・カンヴァス			
自画像	1924		墨、パステル・紙			
自画像	1924		墨、パステル・紙			

作 品 名	制作年	作者	技法・材質	貸出先	貸出期間	展覧会名等
2019年度(平成31年度/令和元年度)						
自画像	1924	猪熊弦一郎	墨、パステル・紙	島根県立石見美術館	2019年 7月2日～ 9月6日	「猪熊弦一郎展　いのくまさん」 会期：7月13日～9月1日 会場：島根県立石見美術館
自画像	1924		墨・紙			
自画像	1925		油彩・カンヴァス			
婦人像	1926		油彩・カンヴァス			
題名不明	1933		油彩・カンヴァス			
藤田嗣治像	1938		インク・紙			
フラミンゴ楽園	1938		油彩・カンヴァス			
Ｓ君の像	1939		油彩・カンヴァス			
サクランボ	1939		油彩・カンヴァス			
フランス婦人像	1939		インク・紙			
マドモアゼルM	1940		油彩・カンヴァス			
題名不明	1944		インク・紙			
三匹の猫	1945頃		インク・紙			
題名不明	1946		インク・紙			
題名不明	1946		インク・紙			
題名不明	1946		インク・紙			
バレリーナの夢想	1950		油彩・カンヴァス			
三越包装紙《華ひらく》型紙	1950		インク、水彩・紙			
黒い髪『小説新潮』表紙絵原画	1950年 5月号		水彩・紙			
《自由》JR上野駅中央コンコース壁画原画	1951		鉛筆、インク・トレーシングペーパー			
猫と食卓	1952		油彩・カンヴァス			
猫によせる歌	1952		油彩・カンヴァス			
猫と住む人	1952		油彩・カンヴァス			
猫達	1953		油彩・カンヴァス			
鳥と遊ぶ子供達	1954		油彩・カンヴァス			
題名不明	1954		油彩・カンヴァス			
題名不明	1954頃		油彩・カンヴァス			
タクシー『小説新潮』表紙絵原画	1960年 5月号		水彩・紙			
アンティークショップ『小説新潮』表紙絵原画	1962年 3月号		水彩・紙			
クリスマスツリー『小説新潮』表紙絵原画	1962年 12月号		水彩・紙			
道	1964		油彩・カンヴァス			
桃色の地図	1966		アクリル・カンヴァス			
顔『小説新潮』表紙絵原画	1967年 11月号		水彩・紙			
The City (Green No.1)	1968		アクリル・カンヴァス			
驚く可き風景(A)	1969		アクリル・カンヴァス			
自画像	1970		インク・紙			
Landscape	1971		アクリル・カンヴァス			
題名不明	1971頃		インク・紙			
風景	1972		アクリル・カンヴァス			
有吉佐和子著『華岡青洲の妻・恍惚の人』＜新潮現代文学51＞表紙デザイン画	1978		アクリル・コラージュ、紙			
大佛次郎著『猫のいる日々』表紙原画	1978		鉛筆、インク、アクリル・紙			

作 品 名	制作年	作者	技法・材質	貸出先	貸出期間	展覧会名等
2019年度(平成31年度/令和元年度)						
自由の住む都市	1980	猪熊弦一郎	アクリル・カンヴァス	島根県立石見美術館	2019年 7月2日～ 9月6日	「猪熊弦一郎展　いのくまさん」 会期：7月13日～9月1日 会場：島根県立石見美術館
宇宙は機械の運動場No.1	1981		アクリル・カンヴァス			
安定する機械	1981		アクリル・紙			
構造と遊び	1982		アクリル・紙			
面白い仲間	1982		アクリル、鉛筆、テープコラージュ・紙			
スペース都市 C	1982		アクリル・カンヴァス			
星座からの返信	1983		アクリル・カンヴァス			
緑の太陽と煙	1984		アクリル・紙			
子供と発見	1984		アクリル・カンヴァス			
五月金曜日	1985		アクリル・カンヴァス			
題名不明	1985		インク・紙			
題名不明	1985		インク、鉛筆・紙			
題名不明	1985		インク・紙			
題名不明	1985		インク・紙			
題名不明	1985		インク・紙			
題名不明	1985		インク・紙			
題名不明	1985		インク・紙			
題名不明	1985		インク・紙			
題名不明	1985		インク・紙			
題名不明	1985		インク・紙			
題名不明	1985頃		インク・紙			
題名不明	1985頃		インク・紙			
題名不明	1986		インク・紙			
明るい集落	1986		アクリル・カンヴァス			
題名不明	1987		インク・紙			
金環食	1987		アクリル・カンヴァス			
顔25	1988		インク・紙			
題名不明	1988		アクリル･紙			
顔40	1988		アクリル・カンヴァス			
顔31	1989		アクリル・カンヴァス			
顔35	1989		アクリル・カンヴァス			
Faces 80	1989		アクリル・カンヴァス			
顔80	1989		アクリル・カンヴァス			
顔15	1989		アクリル・カンヴァス			
帰る 太陽のもとへ	1989		アクリル・紙			
題名不明	1989		パステル・紙			
題名不明	1989		鉛筆・紙			
題名不明	1990		インク、鉛筆・紙			
鳥達の日記帳	1990		アクリル・カンヴァス			
靴と鳥	1990		アクリル・カンヴァス			
合唱	1990		インク、鉛筆・紙			
顔、犬、鳥、	1991		アクリル・カンヴァス			
題名不明	1991		アクリル、インク、コラージュ・紙			
題名不明	1991頃		パステル・紙			
顔青	1992		アクリル・カンヴァス			

作 品 名	制作年	作者	技法・材質	貸出先	貸出期間	展覧会名等
2019年度(平成31年度/令和元年度)						
顔バック緑	1992	猪熊弦一郎	アクリル・カンヴァス	島根県立石見美術館	2019年 7月2日～ 9月6日	「猪熊弦一郎展　いのくまさん」 会期：7月13日～9月1日 会場：島根県立石見美術館
顔 ブルーの中	1992		アクリル・発砲スチロール			
題名不明	1992		アクリル・紙			
顔11(K)	1992		アクリル・カンヴァス			
題名不明	1992		鉛筆・紙			
題名不明	1992		アクリル・紙			
題名不明	1992		鉛筆、コンテ・紙			
題名不明	1992		アクリル・紙			
題名不明	1992		アクリル、インク、鉛筆・紙			
題名不明	1993		アクリル、鉛筆・紙			
風車と鳥	1993		アクリル・カンヴァス			
ダボとカガシ	1993		アクリル・カンヴァス			
自画像	不詳		インク・紙			
自画像	不詳		インク・紙			
題名不明	不詳		インク・紙			
題名不明	不詳		インク・紙			
キリンビール株式会社 ポスター原案	不詳		水彩・紙			
キリンビール株式会社 ポスター原案	不詳		水彩・紙			
キリンビール株式会社 ポスター原案	不詳		水彩・紙			
『モズの靴屋さん　創作童話集』松本恵子著	1942	猪熊弦一郎装丁	書籍			
『眞珠夫人　上巻』菊池寛著	1947		書籍			
『闘牛』井上靖著	1950		書籍			
『朝の波紋』高見順著	1952		書籍			
『ビルマの竪琴』竹山道雄著	1953		書籍			
『華岡青洲の妻・恍惚の人』有吉佐和子著	1978		書籍			
『猫のいる日々』大佛次郎著	1978		書籍			
『新女苑』表紙（校正刷）	1948年 3月号	猪熊弦一郎画	印刷・紙			
	1948年 6月号		印刷・紙			
	1948年 8月号		印刷・紙			
『文學界』表紙（校正刷）	1949年 4月号		印刷・紙			
	1949年 8月号		印刷・紙			
	1949年 10月号		印刷・紙			
	1950年 5月号		印刷・紙			
	1950年 11月号		印刷・紙			

作 品 名	制作年	作者	技法・材質	貸出先	貸出期間	展覧会名等
2019年度(平成31年度/令和元年度)						
『讃岐公論』表紙	1952年5月号	猪熊弦一郎画	印刷・紙	島根県立石見美術館	2019年7月2日～9月6日	「猪熊弦一郎展　いのくまさん」 会期：7月13日～9月1日 会場：島根県立石見美術館
	1953年9月号		印刷・紙			
	1953年11月号		印刷・紙			
	1954年5月号		印刷・紙			
	1954年11月号		印刷・紙			
	1955年1月号		印刷・紙			
『ドレスメーキング』車内吊ポスター	1958年11月号		ポスター			
	1959年7月号		ポスター			
	1959年8月号		ポスター			
	1959年9月号		ポスター			
有楽町西武ポスター　AD田中一光/C糸井重里	1986		ポスター			
有楽町西武ポスター　AD田中一光/C糸井重里	1986		ポスター			
三越ポスター	1989		ポスター			
三越ポスター	1989		ポスター			
対話彫刻　24点	-	猪熊弦一郎	ミクストメディア			
猪熊弦一郎のコレクション　11点	-	-	-			
ThayvaphongとPatikan	2016-2017	志賀理江子	タイプCプリント	東川町文化ギャラリー	2019年7月10日～9月17日	「第35回東川賞受賞作家作品展」 会期：8月3日～8月28日 会場：東川町文化ギャラリー
猪熊弦一郎のコレクション、画材　14点	-		-	d47 MUSEUM	2019年8月29日～12月5日	「d design travel KAGAWA EXHIBITION」 会期：9月6日～12月2日 会場：d47 MUSEUM
《和敬清寂》試作	1958頃	猪熊弦一郎	紙	香川県立ミュージアム	2019年9月20日～12月19日	「日本建築の自画像　探求者たちのもの語り」 会期：9月21日～12月15日 会場：香川県立ミュージアム
《和敬清寂》試作	1958頃		紙			
自画像	1925	猪熊弦一郎	油彩・カンヴァス	丸亀市立資料館	2019年9月17日～11月22日	「くらしの中の愛しき友　猪熊弦一郎の作品とコレクション」 会期：9月28日～11月17日 会場：丸亀市立資料館
にんにく売る子供	1938		油彩・カンヴァス			
魚と女	1939		油彩・カンヴァス			
レゼジーの駅	1939		油彩・カンヴァス			
フラミンゴ楽園	1938		油彩・カンヴァス			
サクランボ	1939		油彩・カンヴァス			
マドモアゼルM	1940		油彩・カンヴァス			

作 品 名	制作年	作者	技法・材質	貸出先	貸出期間	展覧会名等
						2019年度(平成31年度/令和元年度)
リュ ドゥ シャトー (パリ)	1939	猪熊弦一郎	パステル、インク・紙	丸亀市立資料館	2019年 9月17日～ 11月22日	「くらしの中の愛しき友　猪熊弦一郎の作品とコレクション」 会期：9月28日～ 11月17日 会場：丸亀市立資料館
オ シャレ ドゥ ラ ビュット	1939頃		パステル、インク・紙			
サクレクールの土産物屋	1939頃		パステル、インク・紙			
Snake Line	1964		油彩・カンヴァス			
Landscape BY	1972		アクリル・カンヴァス			
地図でない地図	1978		アクリル・カンヴァス			
花嫁のスケジュール	1979		アクリル・カンヴァス			
二つの門	1987		アクリル・カンヴァス			
題名不明	1979		墨・紙			
スケッチブック《アリゾナとカチナドール》より2点	1980		墨・紙			
飛ぶ日のよろこび	1993		アクリル・カンヴァス			
顔2 猫2 鳥8	1991		アクリル・カンヴァス			
顔71	1989		アクリル・カンヴァス			
Fingers 12 Hands	1982		アクリル・紙			
手と星座	1984		アクリル・紙			
ハンズ8	1982		アクリル・紙			
美しき隣人	1984		鉛筆、アクリル・紙			
宇宙は機械の運動場　No.5	1981		アクリル・紙			
ポストオフィス	1984		鉛筆、アクリル・紙			
題名不明	不詳		インク・紙			
題名不明	1986		インク・紙			
対話彫刻　13点	-		ミクストメディア			
志野木の葉鉢	1955頃	北大路魯山人	陶器			
銀彩輪花鉢	1955頃	北大路魯山人	陶器			
絵付皿	1977	ジョン・レノン	陶器			
絵付皿	1977	ジョン・レノン	陶器			
題名不明	不詳	クリスト	書籍、ビニール			
暑い日	1950	イサム・ノグチ	陶（瀬戸焼）・木			
猪熊弦一郎のコレクション　116点	-	-	-			
						2020年度(令和２年度)
長江埠の子供達	1941	猪熊弦一郎	油彩・カンヴァス	神戸市立小磯記念美術館、豊田市美術館	2020年 9月23日～ 2021年 3月20日	「わが青春の上杜会-昭和を生きた洋画家たち」 ①会期：10月3日～ 12月13日 会場：神戸市立小磯記念美術館 ②会期：2021年 1月5日～ 3月14日 会場：豊田市美術館
Water Shores A	1970		アクリル・カンヴァス			
或晴れた一日	1992		アクリル・カンヴァス			
第四回上杜会展ポスター習作	1931		水彩、インク・紙			
第四回上杜会展ポスター習作	1931		水彩、インク・紙			
神奈川県津久井郡吉野町大房家疎開の時の八畳部屋	1945		インク・紙			
神奈川県津久井郡吉野町大房家庭 戦中疎開先スケッチ	1945		インク・紙			
6.23 みどりちゃん	1945		インク・紙			
題名不明 (8月14日のスケッチ 猫)	1945		インク・紙			
題名不明 (8月14日のスケッチ)	1945		インク・紙			
題名不明 (9月20日のスケッチ)	1945		水彩、インク・紙			

作 品 名	制作年	作者	技法・材質	貸出先	貸出期間	展覧会名等
						2020年度(令和２年度)
第四回上杜会展ポスター	1931	猪熊弦一郎画	ポスター	神戸市立小磯記念美術館、豊田市美術館	2020年 9月23日～ 2021年 3月20日	「わが青春の上杜会-昭和を生きた洋画家たち」 ①会期：10月3日～ 12月13日 会場：神戸市立小磯記念美術館 ②会期：2021年 1月5日～ 3月14日 会場：豊田市美術館
第五回上杜会展ポスター	1932	小磯良平画	ポスター			
第七回上杜会展ポスター	1934	不詳	ポスター			
題名不明	1912頃	猪熊弦一郎	インク・紙	周南市美術博物館	2020年 12月24日～ 2021年 3月1日	「猪熊弦一郎展いのくまさん」 会期：2021年 1月8日～ 2月23日 会場：周南市美術博物館
題名不明	1912頃		インク・紙			
題名不明	1912頃		水彩、鉛筆・紙			
題名不明	1913頃		インク・紙			
自画像	1921		油彩・カンヴァス			
自画像	1921		油彩・カンヴァス			
自画像	1924		油彩・カンヴァス			
婦人像	1926		油彩・カンヴァス			
二人	1931年		油彩・カンヴァス			
題名不明	1933		油彩・カンヴァス			
小豆島オリーブ園	1934年		油彩・カンヴァス			
藤田嗣治像	1938		インク・紙			
Ｓ君の像	1939		油彩・カンヴァス			
サクランボ	1939		油彩・カンヴァス			
モンマルトル裏街	1939年		油彩・カンヴァス			
ホテルクロマニヨン	1939年		油彩・カンヴァス			
レゼジーの駅	1939年		油彩・カンヴァス			
Foumiko	1944		油彩・板			
妻と赤い服	1950		油彩・カンヴァス			
バレリーナの夢想	1950		油彩・カンヴァス			
三越包装紙《華ひらく》型紙	1950		インク、水彩・紙			
《小説新潮》表紙絵原画　黒い髪　1950年5月号	1950		水彩・紙			
猫と子供	1951		油彩・カンヴァス			
《自由》JR上野駅中央コンコース壁画原画	1951		鉛筆、インク、トレーシングペーパー			
猫によせる歌	1952		油彩・カンヴァス			
頭上猫	1952		油彩・カンヴァス			
猫達	1953		油彩・カンヴァス			
題名不明	1954		油彩・カンヴァス			
題名不明	1954頃		油彩・カンヴァス			
タクシー　『小説新潮』1960年5月号表紙絵原画	1960		水彩・紙			
アンティークショップ　『小説新潮』1962年3月号表紙絵原画	1962		水彩・紙			
クリスマスツリー　『小説新潮』1962年12月号表紙絵原画	1962		水彩・紙			
道	1964		油彩・カンヴァス			
かきぞめ　『小説新潮』1964年1月号表紙絵原画	1964		水彩・紙			

作 品 名	制作年	作者	技法・材質	貸出先	貸出期間	展覧会名等
						2020年度(令和２年度)
桃色の地図	1966	猪熊弦一郎	アクリル・カンヴァス	周南市美術博物館	2020年 12月24日～ 2021年 3月1日	「猪熊弦一郎展 いのくまさん」 会期：2021年 1月8日～ 2月23日 会場：周南市美術博物館
こたつ『小説新潮』 1966年11月号表紙絵原画	1966		水彩・紙			
The City (Green No.1)	1968		アクリル・カンヴァス			
The City Planning Yellow No.1	1968		アクリル・カンヴァス			
驚く可き風景(A)	1969		アクリル・カンヴァス			
自画像	1970		インク・紙			
Landscape	1971		アクリル・カンヴァス			
題名不明	1971頃		インク・紙			
風景	1972		アクリル・カンヴァス			
四つの生きた丸	1978		アクリル・紙			
『華岡青洲の妻・恍惚の人』 有吉佐和子著　表紙デザイン画	1978		アクリル、コラージュ・紙			
『猫のいる日々』大佛次郎著　表紙原画	1978		鉛筆、インク、アクリル・紙			
花嫁のスケジュール	1979		アクリル・カンヴァス			
ニューヨーク九十五丁目の矢じるし	1979		アクリル、鉛筆、コラージュ・カンヴァス			
自由の住む都市	1980		アクリル・カンヴァス			
宇宙は機械の運動場No.1	1981		アクリル・カンヴァス			
安定する機械	1981		アクリル・紙			
構造と遊び	1982		アクリル・紙			
面白い仲間	1982		アクリル，コラージュ・紙			
スペース都市 C	1982		アクリル・カンヴァス			
緑の太陽と煙	1984		アクリル・紙			
エネルギーの原点	1984		アクリル・カンヴァス			
子供と発見	1984		アクリル・カンヴァス			
題名不明	1985		インク・紙			
題名不明	1985		インク、鉛筆・紙			
題名不明	1985		インク・紙			
題名不明	1985		インク・紙			
題名不明	1985		インク・紙			
題名不明	1985		インク・紙			
題名不明	1985		インク・紙			
五月金曜日	1985		アクリル・カンヴァス			
題名不明	1985頃		インク・紙			
題名不明	1986		インク・紙			
明るい集落	1986		アクリル・カンヴァス			
顔25	1988		インク・紙			
題名不明	1989		鉛筆・紙			
顔31	1989		アクリル・カンヴァス			
顔35	1989		アクリル・カンヴァス			
Faces 80	1989		アクリル・カンヴァス			
顔80	1989		アクリル・カンヴァス			
顔15	1989		アクリル・カンヴァス			
帰る 太陽のもとへ	1989		アクリル・紙			
題名不明	1989		パステル・紙			

作 品 名	制作年	作者	技法・材質	貸出先	貸出期間	展覧会名等
						2020年度(令和２年度)
題名不明	1990	猪熊弦一郎画	インク、鉛筆・紙	周南市美術博物館	2020年 12月24日～ 2021年 3月1日	「猪熊弦一郎展いのくまさん」 会期：2021年 1月8日～ 2月23日 会場：周南市美術博物館
鳥と遊ぶ	1990		アクリル・カンヴァス			
鳥達冬に遊ぶ	1991		アクリル・カンヴァス			
題名不明	1991		ｱｸﾘﾙ、ｲﾝｸ、ｺﾗｰｼﾞｭ・紙			
題名不明	1991頃		パステル・紙			
顔青	1992		アクリル・カンヴァス			
顔バック緑	1992		アクリル・カンヴァス			
緑の中の美しき顔	1992		アクリル・カンヴァス			
題名不明	1992		アクリル・紙			
顔11(K)	1992		アクリル・カンヴァス			
題名不明	1992		鉛筆・紙			
題名不明	1992		鉛筆、コンテ・紙			
題名不明	1992		アクリル・紙			
題名不明	1992		ｱｸﾘﾙ、ｲﾝｸ、鉛筆・紙			
題名不明	1993		アクリル、鉛筆・紙			
鳥達の遊び	1993		アクリル・カンヴァス			
ダボとカガシ	1993		アクリル・カンヴァス			
自画像	不詳		インク・紙			
自画像	不詳		インク・紙			
キリンビール株式会社ポスター原案	不詳		水彩・紙			
キリンビール株式会社ポスター原案	不詳		水彩・紙			
キリンビール株式会社ポスター原案	不詳		水彩・紙			
題名不明	不詳		インク・紙			
『新女苑』1948年3月号表紙（校正刷）	1948	猪熊弦一郎	印刷・紙			
『新女苑』1948年6月号表紙（校正刷）	1948		印刷・紙			
『新女苑』1948年8月号表紙（校正刷）	1948		印刷・紙			
『文學界』1949年4月号表紙（校正刷）	1949		印刷・紙			
『文學界』1949年8月号表紙（校正刷）	1949		印刷・紙			
『文學界』1949年10月号表紙（校正刷）	1949		印刷・紙			
『文學界』1950年5月号表紙（校正刷）	1950		印刷・紙			
『文學界』1950年11月号表紙（校正刷）	1950		印刷・紙			
『讃岐公論』1952年5月号表紙	1952		印刷・紙			
『讃岐公論』1953年9月号表紙	1953		印刷・紙			
『讃岐公論』1953年11月号表紙	1953		印刷・紙			
『讃岐公論』1954年5月号表紙	1954		印刷・紙			
『讃岐公論』1954年11月号表紙	1954		印刷・紙			
『讃岐公論』1955年1月号表紙	1955		印刷・紙			

作 品 名	制作年	作者	技法・材質	貸出先	貸出期間	展覧会名等
						2020年度(令和２年度)
『ドレスメーキング』 1958年11月号　車内吊ポスター	1958	猪熊弦一郎画	ポスター	周南市美術博物館	2020年 12月24日～ 2021年 3月1日	「猪熊弦一郎展 いのくまさん」 会期：2021年 1月8日～ 2月23日 会場：周南市美術博物館
『ドレスメーキング』 1959年7月号　車内吊ポスター	1959		ポスター			
『ドレスメーキング』 1959年8月号　車内吊ポスター	1959		ポスター			
『ドレスメーキング』 1959年9月号　車内吊ポスター	1959		ポスター			
有楽町西武ポスター AD田中一光/C糸井重里	1986		ポスター			
有楽町西武ポスター AD田中一光/C糸井重里	1986		ポスター			
三越ポスター	1989		ポスター			
三越ポスター	1989		ポスター			
『モズの靴屋さん　創作童話集』松本恵子著	1942	猪熊弦一郎装丁	書籍			
『眞珠夫人　上巻』菊池寛著	1947		書籍			
『闘牛』井上靖著	1950		書籍			
『朝の波紋』高見順著	1952		書籍			
『ビルマの竪琴』竹山道雄著	1953		書籍			
『華岡青洲の妻・恍惚の人』有吉佐和子著	1978		書籍			
『猫のいる日々』大佛次郎著	1978		書籍			
対話彫刻　63点	-	猪熊弦一郎	ミクストメディア			
猪熊弦一郎のコレクション　20点	_	-	-			
洞窟壁画スケッチ（トナカイ、山羊上半身）	1939	猪熊弦一郎	インク・紙	香川県立ミュージアム	2021年 1月5日～ 7月16日	「空間に生きる画家 猪熊弦一郎-民主主義の生活空間と造形の試み」 会期：4月17日～ 7月4日 会場：香川県立ミュージアム
洞窟壁画スケッチ（母子トナカイ）	1939		インク・紙			
洞窟壁画スケッチ（石彫、山羊）	1939		インク・紙			
洞窟壁画スケッチ（牛）	1939		インク・紙			
洞窟壁画スケッチ（様式化された女性）	1939		インク・紙			
題名不明（スケッチ）	1944-45頃		インク・紙			
題名不明（スケッチ）	1944-45頃		インク・紙			
題名不明（スケッチ）	1944-45頃		インク、水彩・紙			
題名不明（スケッチ）	1944-45頃		水彩、鉛筆・紙			
題名不明（スケッチ）	1944-45頃		インク・紙			
題名不明（スケッチ）	1944-45頃		インク・紙			
トゥオネラのスワン　舞台背景原画	1951頃		水彩・紙			
一つの椅子　衣装デザイン	1951頃		鉛筆、水彩、セロハン・紙			
一つの椅子　衣装デザイン	1951頃		鉛筆、水彩・紙			

作 品 名	制作年	作者	技法・材質	貸出先	貸出期間	展覧会名等
						2020年度(令和２年度)
《和敬清寂》試作	1958頃	猪熊弦一郎	水彩、鉛筆・紙	香川県立ミュージアム	2021年 1月5日～ 7月16日	「空間に生きる画家 猪熊弦一郎-民主主義の 生活空間と造形の試み」 会期：4月17日～ 7月4日 会場：香川県立ミュージアム
《和敬清寂》試作	1958頃		水彩、鉛筆・紙			
《和敬清寂》試作	1958頃		水彩、鉛筆・紙			
スケッチブック　茶表紙	不詳		鉛筆・紙			
ロゴ　スケッチ	不詳		インク・紙			
トア・エ・モア 7月17日付　ホテル松濤　原画	不詳		水彩、紙ペン・紙			
ロゴ　スケッチ	不詳		鉛筆・紙			
ロゴ　スケッチ	不詳		鉛筆・紙			
ロゴ　スケッチ	不詳		鉛筆・紙			
ロゴ　スケッチ	不詳		鉛筆・紙			
『新制作派　１』表紙原画	1936頃	佐藤　敬	鉛筆、水彩・紙			
題名不明（スケッチ）	不詳	猪熊文子	鉛筆・紙			
題名不明（スケッチ）	不詳		鉛筆・紙			
題名不明（スケッチ）	不詳		鉛筆・紙			
スケッチブック	不詳	中村武平	鉛筆、水彩、インク・紙			
スケッチブック	不詳		鉛筆、水彩・紙			
着物デザイン画	不詳	不詳	鉛筆、パステル・紙			
着物デザイン画	不詳		鉛筆、パステル・紙			
						2021年度(令和３年度)
少年	1922	猪熊弦一郎	油彩・カンヴァス	香川県立ミュージアム	2021年 1月5日～ 7月16日	「空間に生きる画家 猪熊弦一郎-民主主義の 生活空間と造形の試み」 会期：4月17日～ 7月4日 会場：香川県立ミュージアム
画室	1932		油彩・カンヴァス			
二人	1936		油彩・カンヴァス			
夜	1937		油彩・カンヴァス			
黄昏	1937		油彩・カンヴァス			
昼	1937		油彩・カンヴァス			
巴里のおばあさん	1938		油彩・カンヴァス			
レゼジーの駅	1939		油彩・カンヴァス			
ホテルクロマニヨン	1939		油彩・カンヴァス			
ヴィオロンと女	1940		油彩・カンヴァス			
壮絶なる風景（コレヒドール）	1942		油彩・カンヴァス			
フィリッピンの子供	1942頃		油彩・カンヴァス			
病室	1944		油彩・板			
矢車草	1944		油彩・板			
6.23 みどりちゃん	1945		インク・紙			
神奈川県津久井郡吉野町 大房家庭 戦中疎開先スケッチ	1945		インク・紙			
ダムのある風景	1945頃		油彩・カンヴァス			
慶応義塾大学壁画《デモクラシー》原画	1949		鉛筆、水彩・紙			
三越包装紙《華ひらく》型紙	1950		インク、水彩・紙			
妻と赤い服	1950		油彩・カンヴァス			
バレリーナの夢想	1950		油彩・カンヴァス			
真鍮網による椅子	1950		真鍮網、革、鉄			
スツール	1950		クローム塗金、木、鉄			
JR上野駅　中央コンコース壁画《自由》　原画	1951		鉛筆、インク・トレーシングペーパー			

作 品 名	制作年	作者	技法・材質	貸出先	貸出期間	展覧会名等
						2021年度(令和３年度)
サイドテーブル	1953	猪熊弦一郎	木、鉄	香川県立ミュージアム	2021年 1月5日～ 7月16日	「空間に生きる画家 猪熊弦一郎-民主主義の 生活空間と造形の試み」 会期：4月17日～ 7月4日 会場：香川県立ミュージアム
真鍮網による椅子	1954		真鍮網、革、鉄			
バレリーナ	1988		陶板・板			
『ドレスメーキング』 1959年7月号　車内吊ポスター	1959	猪熊弦一郎画	ポスター			
『ドレスメーキング』 1959年8月号　車内吊ポスター	1959		ポスター			
文明堂新宿店風呂敷	1961		絹			
風呂敷	不詳		絹			
風呂敷	不詳		絹			
風呂敷	不詳		絹			
風呂敷	不詳		絹			
風呂敷	不詳		絹			
風呂敷	不詳		絹			
『眞珠夫人　上巻』菊池寛著	1947	猪熊弦一郎装丁	油彩・板			
『ビルマの竪琴』竹山道雄著	1953		書籍			
自画像	不詳	小磯良平	油彩・板			
東京駅壁彫　関連作　2点	不詳	－	木			
《華ひらく》の題材になった石　2点	－	－	石			
手回しオルゴール（猪熊弦一郎のコレクション）	不詳	－	金属			
にんにく売る子供	1938	猪熊弦一郎	油彩、カンヴァス	徳島県立近代美術館	2021年 9月24日～ 12月1日	「子どものころ」 会期：10月9日～ 11月28日 会場：徳島県立近代美術館
娘と葉	1940		油彩、カンヴァス			
二人の子供	1950		油彩、カンヴァス			
鳥と遊ぶ子供達	1954		油彩、カンヴァス			

Ⅳ 美術作品整理・管理

ii 収蔵品データベース

当館所蔵の猪熊弦一郎のカンヴァス、板作品844件について、収蔵品管理システム「I.B.MUSEUM SaaS」にて作品データ（文字情報のみ）を公開した。
https://jmapps.ne.jp/mimoca/

2021年度公開作品数　844件

V　広報事業

i　MIMOCAマガジン

美術館のコンセプトや企画展の作品、出品作家などに焦点をあてたコラム。多角的に美術館の魅力を伝えることを目的としている。
https://www.mimoca.org/ja/magazine/

MIMOCAマガジン掲載記事

2020年度

美術館は心の病院①
美術館は心の病院②
「西京人」とその作品-美術家・小沢剛インタビュー前編
「西京人」とその作品-美術家・小沢剛インタビュー後編
猪熊弦一郎展　色に注目！-赤・黄・青から見てみると？-コラム
展覧会イラストレポート
「まみえる　千変万化な顔たち」-髙山陽介インタビュー
「まみえる　千変万化な顔たち」-super-KIKIインタビュー

2021年度

「いのくまさんとニューヨーク散歩」イラストレポート
「いのくまさんとニューヨーク散歩」コラム前編
「いのくまさんとニューヨーク散歩」コラム後編
「藤島武二と猪熊弦一郎　サンプリシテとシンプル」イラストレポート
「カラダで表現！瀬戸フィルハーモニー交響楽団音楽ワークショップ」レポート
「んまつーポスのカラダ表現！ワークショップ」コラム
「丸亀での現在」《ホームステイホーム》-Nadegata Instant Partyインタビュー前編
「丸亀での現在」《ホームステイホーム》-Nadegata Instant Partyインタビュー後編
「丸亀での現在」関連ワークショップ「ミモカで野良工作！」レポート
「カラダで表現！ノゾエ征爾　演劇ワークショップ」レポート



猪熊弦一郎展
いのくまさんとニューヨーク散歩
FEELIN´ GROOVY!：Walk Around New York with Genichiro Inokuma
イラストレポート
Illustration ⓒHAMATAKE Mutsuko

VI 収益事業

i ミュージアムショップ

ミュージアムショップは1階エントランスホールに設けられている。商品は全てオリジナルであり、当初猪熊自らグッズ製作に携わった。猪熊の「街では売ってないもの、美術館だからあるもの」を提供するという姿勢を受け継ぎ、作品をもとにした商品を新しく開発している。

※記載の無いものは全て税抜価格

■卓上カレンダー

テーマを決めて、当館所蔵の猪熊作品12点を各月の図版に選び掲載した。菊地敦己デザインにより制作した。

2021年卓上カレンダー

価格　1,200円
サイズ　19.2×10.5cm 上部リング止め
テーマ　東京とハワイを行き来していた頃のスケッチブックを中心とした作品



2021年卓上カレンダー

2022年卓上カレンダー

価格　1,300円
サイズ　19.2×10.5cm 上部リング止め
テーマ　最晩年の人物や動物が多く登場する作品



2022年卓上カレンダー

■シール

猪熊が描いた個性的な猫の作品をそのままシールにした。
大小さまざまな猫がパーツごとにはがれる。

2019年度

シール大（猫11）

価格　300円

サイズ　150×210mm

使用作品　《題名不明》制作年不明



シール大（猫11）

■カトラリーセット

別々に販売していたカトラリーとボックスを、ギフト用として手に取りやすいセットにして販売した。

2019年度

カトラリー３本セット（ギフトボックス入り）

価格　1,328円

内容　ティースプーン、ケーキフォーク、
アイスクリームスプーン

素材　18-12ステンレス



カトラリー３本セット（ギフトボックス入り）

カトラリー６本セット（ギフトボックス入り）

価格　2,655円

内容　ティースプーン、ケーキフォーク、
アイスクリームスプーン　各2本ずつ

素材　18-12ステンレス



カトラリー６本セット（ギフトボックス入り）

■缶バッジ

猪熊のスケッチを題材とした缶バッジを製作した。



缶バッジ（ロボットのような生き物）

2019年度

缶バッジ　大（ロボットのような生き物）

価格　300円

サイズ　直径4.4ｃｍ

使用作品《題名不明》1980年

■ガチャポン

瀬戸内国際芸術祭2019県内連携事業「丸亀ここがMIMOCA in 本島」を機に、ガチャポン限定の缶バッジを開発し、既存缶バッジと共に、本島特別価格200円均一で販売。瀬戸内国際芸術祭後、美術館にガチャポンを移動し、300円均一で販売した。



ガチャポン限定　金色缶バッジ

瀬戸内国際芸術祭　秋会期　本島設置時

価格　200円（税込）

内容　缶バッジ（小３種、中３種、大６種、四角２種、
ガチャポン限定缶バッジ１種）



ガチャポン　本島設置

瀬戸内国際芸術祭　秋会期以降

価格　300円（税込）

内容　缶バッジ（大６種、四角２種、
ガチャポン限定缶バッジ１種）

■メモ帳

猪熊が好んで描いたモチーフをそれぞれメモ帳にした。



メモ帳　猫

2019年度

メモ帳　猫、馬

価格　400円

内容　１冊につき210枚（絵柄３種類×70枚）

使用作品　メモ帳　猫：全て猪熊弦一郎作、題名不明、1955年。
書籍『猫』(1955年／中央公論社)挿絵から選出。
メモ帳　馬：全て猪熊弦一郎作、題名不明、制作年不明。



メモ帳　馬

■クリアファイル

もっと身近に猪熊作品を楽しむために、ステーショナリーグッズの充実を目指した。

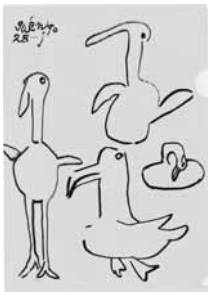
2020年度

クリアファイル　鳥4、（頭上猫）、（ロボットのような生き物）、創造の広場

価格　A4サイズ　各300円
　　A5サイズ　各200円

使用作品　クリアファイル　鳥４：《鳥４》1990年
　　クリアファイル（頭上猫）：《題名不明》制作年不明
　　クリアファイル（ロボットのような生き物）：
　　《題名不明》制作年不明
　　クリアファイル　創造の広場：《創造の広場》1991年

デザイン　菊地敦己



クリアファイル　鳥4



クリアファイル（頭上猫）



クリアファイル（ロボットのような生き物）



クリアファイル　創造の広場

■鉛筆

2020年度

４色芯色鉛筆

猪熊が度々用いた４色芯色鉛筆をモチーフに、インタビューや自伝で残した言葉を印字した。

価格　各150円

商品名　４色芯色鉛筆（アートはバイタミン）
　　４色芯色鉛筆（美術館は心の病院）
　　４色芯色鉛筆（絵には勇気がいる）
　　４色芯色鉛筆（美とはひっきょうバランスだと思う）



4色芯色鉛筆

■ショッピングバッグ有料化

2020年度、リオープンに伴い、環境に対する取り組みの一環として、ショッピングバッグをビニール製から紙製へ見直すとともに、レジでの無料提供を廃止し、有料化した。

価格　小サイズ　10円（税込）
　　中サイズ　20円（税込）
　　大サイズ　30円（税込）
　　手提げ（白）　100円（税込）
デザイン　菊地敦己



紙　袋

■エコバッグ

ショッピングバッグ有料化に伴い、エコバッグを開発した。

2020年度
エコバッグ（ミモカマーク）
価格　350円
サイズ　よこ約36cm×たて約37cm×マチ約10cm
使用作品　《題名不明》制作年不明
デザイン　菊地敦己



エコバッグ（ミモカマーク）

■複製画

丸亀市内の店舗に猪熊弦一郎がスケッチブックに描いた作品の複製画を展示するプラスMIMOCA（連携交流）の企画と連動し、対象作品の一般販売を順次開始した。
詳細：34、35頁

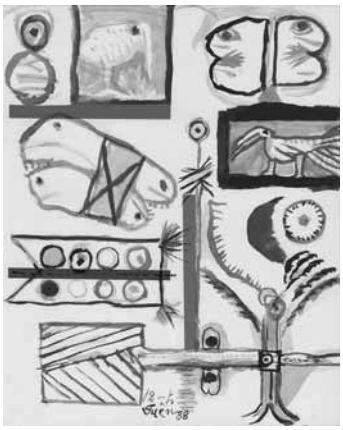
2020年度
いのくまさんのスケッチブック複製画　1〜15
価格　額縁なし：15,000円、額縁あり：30,000円
内容　「いのくまさんのスケッチブック アートはバイタミン」第２弾関連商品

2021年度
いのくまさんのスケッチブック複製画　16〜49
価格　額縁なし：15,000円、額縁あり：30,000円
内容　「いのくまさんのスケッチブック アートはバイタミン」第１弾関連商品

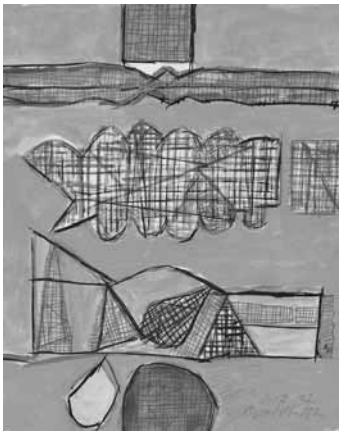
いのくまさんのスケッチブック複製画　50〜59

価格　複製画50〜56　額縁なし：10,000円、額縁あり：20,000円
　　複製画57〜59　額縁なし：15,000円、額縁あり：30,000円
内容　「いのくまさんのスケッチブック アートはバイタミン」第３弾関連商品

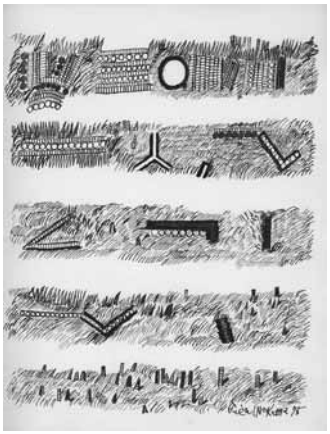
※すべて完全受注生産



複製画10

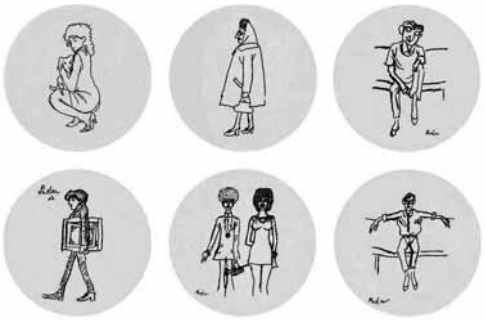


複製画30



複製画55

■2021年度開催企画展「猪熊弦一郎展　いのくまさんとニューヨーク散歩」の関連商品



コースター

2021年度
FEELIN´GROOVY! ニューヨークの人々コースターセット
価格　600円
サイズ　90φ
絵柄：６種類
使用作品　５種類：《題名不明》制作年不明
　　１種類：《題名不明》1960年
デザイン：江藤 公昭（PAPIER LABO.）

FEELIN´GROOVY!　Newspaper Bag
価格　900円
サイズ　よこ約36cm×たて約37cm×マチ約10cm
使用作品　《題名不明》制作年不明
デザイン：江藤 公昭（PAPIER LABO.）



Newspaper Bag

■Tシャツ

人気のTシャツシリーズの充実を図った。「いのくまTシャツ（NY1967)」「いのくまTシャツ（車のある風景)」は、2021年度開催企画展「猪熊弦一郎展　いのくまさんとニューヨーク散歩」の関連商品。

いのくまTシャツ（３人と１匹）
価格　3,000円
サイズ展開　レディースM・L、男女兼用M・L
素材　ホワイト：綿100％、
杢グレー：綿90％、レーヨン10％
色　ホワイト、杢グレー
デザイン　菊地敦己
使用作品　《題名不明》1976年



いのくまTシャツ（3人と1匹）

いのくまTシャツ（NY1967）
価格　3,000円
サイズ展開　レディースM・L、男女兼用M・L
素材　綿100％
色　ホワイト、グリーン
デザイン　菊地敦己
使用作品　1967年開催「The Willard Gallery（ウィラード・ギャラリー)」招待状



いのくまTシャツ（NY1967）

いのくまTシャツ（車のある風景）
価格　3,000円
サイズ展開　レディースM・L、男女兼用M・L
素材　綿100％
色　ホワイト、ブラック
デザイン　菊地敦己
使用作品　《題名不明》制作年不明



いのくまTシャツ（車のある風景）

■記念商品

開館30周年を記念して、カフェミモカを運営する「まちのシューレ 963（一般社団法人　讃岐ライフスタイル研究所）」と共同で商品を開発した。タンブラーは、2022年が猪熊弦一郎生誕120周年にあたるため、それを記念しレッドは限定カラーとして120個の数量限定生産。

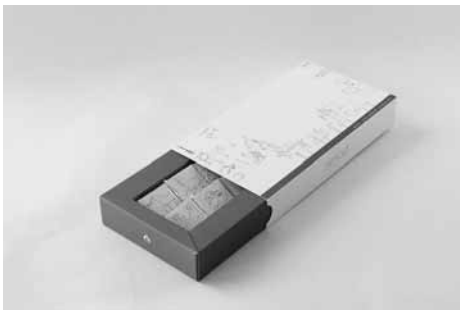
2021年度

MIMOCA30周年記念チョコレートBOX

価格　2,700円

内容量　10種類×２枚ずつ

使用作品　外箱：《創造の広場》1991年



MIMOCA30周年記念チョコレートBOX

タンブラー（動物たち）

価格　3,000円

内容量　350ml

素材　ステンレス製携帯用魔法瓶

カラー　ホワイト／ステンレス／レッド（120個限定）

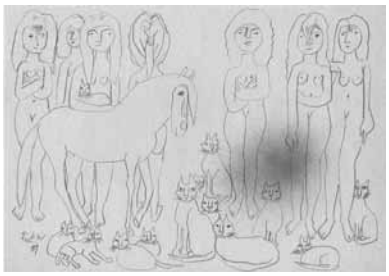
使用作品　《題名不明》1985年



タンブラー（動物たち）

■ポストカード

猪熊作品とともに美術館外観のポストカードも新しく加えた。開館30周年記念として、丸亀の街とMIMOCAをともに撮影したポストカードを数量限定で製作した。「美術館外観（正面）」（2021年）「三匹の猫」（2022年）は、年始の数日間、来館者に年賀状として配布した。



ポストカード「４色の裸婦・猫・馬」

2020年度ポストカード

4色の裸婦・猫・馬

使用作品　《題名不明》1987年

価格　100円



ポストカード「シェルの歌、四つの生命」

2021年度ポストカード

美術館外観　正面

シェルの歌、四つの生命

ロゴタイプ

撮影　増田好郎

価格　各100円



ポストカード「ロゴタイプ」



ポストカード「正面」

頭上猫

使用作品　《頭上猫》1962年

価格　100円



ポストカード「頭上猫」

美術館外観　夜景

撮影　増田好郎

価格　100円

※生産数限定1000枚

三匹の猫

使用作品　《三匹の猫》1945年頃

価格100円



ポストカード「美術館外観　夜景」



ポストカード「三匹の猫」

VI 収益事業

ii カフェ

以前は、カフェレストMIMOCAとして、2006年３月まで財団法人ミモカ美術振興財団の直営で、2006年４月より株式会社ブルーマークに、2011年４月より株式会社菊地敦己事務所に営業委託していた。来館者に長い間ご愛顧いただいていたが、美術館の長寿命化工事に伴い2018年９月末に委託を終了した。

長寿命化工事後の2020年６月より、まちのシューレ963（一般社団法人　讃岐ライフスタイル研究所）に営業委託をして、カフェMIMOCAとして開業した。



撮影：増田好郎

2021年度

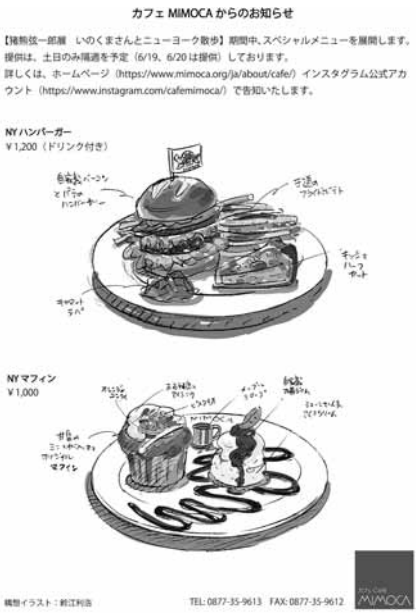
「猪熊弦一郎展　いのくまさんとニューヨーク散歩」

■NYハンバーガー

自家製ベーコンとパテのハンバーガーとフライドポテト、キャロットのラペ、キッシュハーフカット

■NYマフィン

オリジナルマフィン、アイスクリーム



Ⅵ　収益事業

ⅲ　ミュージアムホール

ミュージアムホールは美術館２階アートセンター内に設けられている。発表会、コンサート、講演会、シンポジウム、研究会など、原則的に非営利で行われる文化的行事のために、一般に有料で貸し出しを行っている。

	貸出回数（回）	ミュージアムホール利用者数（人）
2019年度	長期休館のため、貸出しなし	－
2020年度	22	1,870
2021年度	23	1,955





Ⅶ　入館者状況

2019年度（2019年４月１日～2020年３月31日）

展覧会事業

会　　期	展　覧　会　名	日数（日）	入場者数（人）	平均（人／日）
	施設の長寿命化工事に伴い休館			
企画展計		0	0	0
	施設の長寿命化工事に伴い休館			0
常設展計		0	0	0
計			0	

教育普及事業

	プログラム数（回）	日数（日）	利用者数（人）	平均（人／日）
ワークショップ　※１ ※２ ※３	14	234	9,887	42
ミモカキッズパスポート			1,292	
丸亀どこでもMIMOCA　※３	23	23	1,566	68
計	37	257	12,745	

※１「丸亀ここがMIMOCA通常プログラム（場所：旧重元果物店）」の日数、利用者数を含む。
（休業日：火曜日・水曜日、2019年４月23日～５月１日、９月24日～11月６日）

※２「丸亀ここがMIMOCAin本島」の日数、利用者数を含む。
（2019年９月28日～11月４日（10月12日は台風のため臨時休業））

※３　2020年２月29日～３月31日は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

2020年度（2020年４月１日～2021年３月31日）

展覧会事業

会　　期	展　覧　会　名	日数（日）	入場者数（人）	平均（人／日）
2020年６月２日～９月22日 ※	猪熊弦一郎展　アートはバイタミン	98	11,114	113
2020年10月13日～2021年１月11日	窓展　窓をめぐるアートと建築の旅	73	7,632	104
2021年１月23日～３月７日	猪熊弦一郎展　色に注目！－赤・黄・青から見てみると？－	38	3,257	85
2021年３月20日～３月31日	まみえる　千変万化な顔たち	10	946	94
企画展計		219	22,949	105
2020年６月２日～９月22日	猪熊弦一郎回顧展	98	12,004	122
2020年10月13日～2021年１月11日	猪熊弦一郎展　1930年代の具象表現	73	8,050	110
2021年１月23日～３月７日	猪熊弦一郎展　ニューヨークでの画業	38	3,432	90
2021年３月20日～３月31日	パリの猪熊弦一郎と藤田嗣治	10	1,085	108
2021年３月20日～３月31日	猪熊弦一郎展　ハワイで見つけた色と形			
常設展計		219	24,571	112
計			47,520	

※　施設の長寿命化工事後、2020年４月18日をリニューアルオープンの日としていたが、2020年４月18日～５月31日は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休館

教育普及事業

	プログラム数（回）	日数（日）	利用者数（人）	平均（人／日）
ワークショップ	10	20	886	44
学校団体での来館	53		1,225	
博物館実習	1	5	4	
職場体験	1	2	3	
ミモカキッズパスポート			744	
ミモカシニアパスポート			801	
イベント	8	44	4,388	99
美術図書室		195	2,129	10
展覧会関連プログラム	6	42	1,414	33
計	79	308	11,594	

2021年度（2021年４月１日～2022年３月31日）

展覧会事業

会　　期	展　覧　会　名	日数（日）	入場者数（人）	平均（人／日）
2021年４月１日～６月６日　※１	まみえる　千変万化な顔たち	40	3,108	77
2021年６月19日～９月５日　※２	猪熊弦一郎展　いのくまさんとニューヨーク散歩	50	4,977	99
2021年９月18日～12月５日　※３	藤島武二と猪熊弦一郎展　サンプリシテとシンプル	57	6,035	105
2021年12月18日～2022年３月21日	丸亀での現在	75	4,340	57
企画展計		222	18,460	83
2021年４月１日～６月６日　※１	パリの猪熊弦一郎と藤田嗣治	40	3,456	86
2021年４月１日～６月６日　※１	猪熊弦一郎展　ハワイで見つけた色と形			
2021年６月19日～９月５日　※２	猪熊弦一郎展　関心を追って	50	5,563	111
2021年９月18日～12月５日　※３	猪熊弦一郎展　デフォルマシオン	57	6,647	116
2021年12月18日～2022年３月21日	猪熊弦一郎展　NYでみた絵、かいた絵	75	5,440	72
常設展計		222	21,106	95
計			39,566	

※１　2021年５月11日～５月31日は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館

※２　2021年８月17日～９月５日は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館

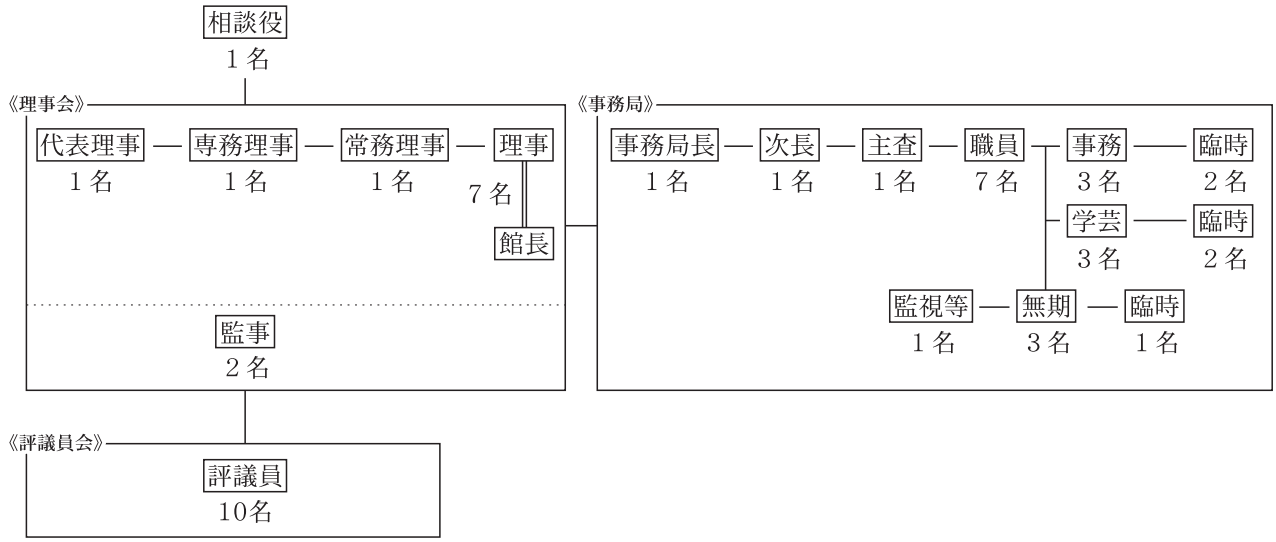
※３　2021年９月18日～９月30日は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館

教育普及事業

	プログラム数（回）	日数（日）	利用者数（人）	平均（人／日）
ワークショップ	11	28	980	35
ワークショップ（展示）	2		635	
学校団体での来館	45		1,742	
博物館実習	1	5	6	
職場体験	3	2	2	
ミモカキッズパスポート			990	
ミモカシニアパスポート			562	
イベント	15	20	6,701	335
美術図書室		221	2,084	9
展覧会関連プログラム	11	21	2,251	42
計	88	297	15,953	

Ⅷ 組織図

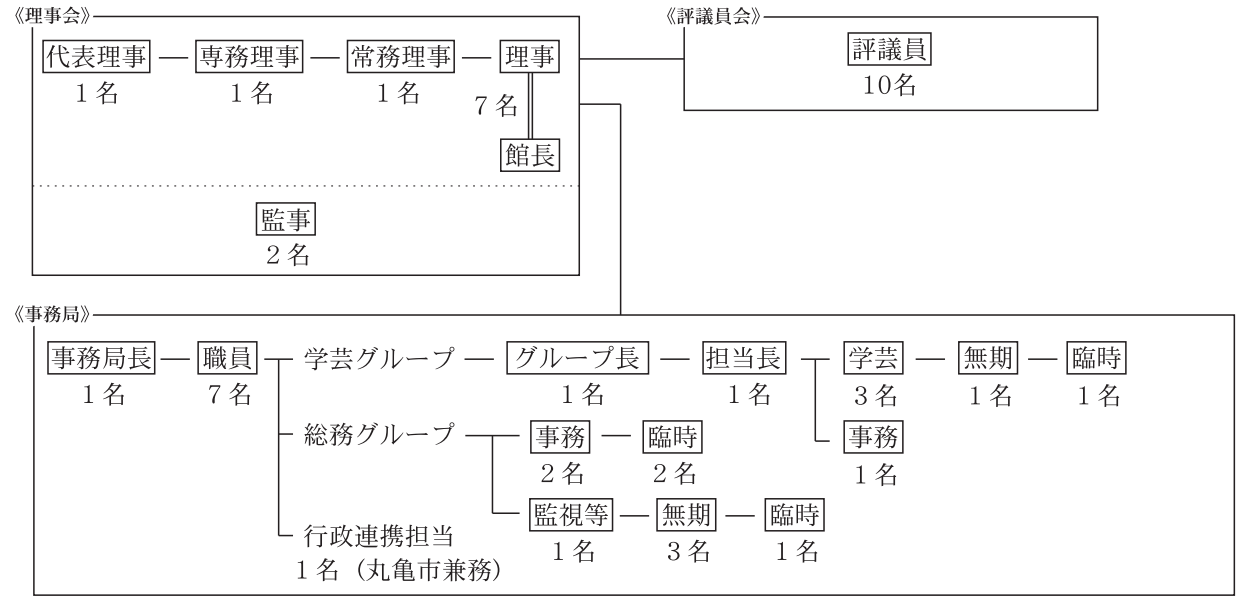
2019年度（平成31年／令和元年度）



代表理事	森　　茂	学識経験者			
専務理事	山地　幸夫	丸亀市産業文化部部長			
常務理事	宮武　正治	学識経験者			
理　　事	塩田　　等	学識経験者	森　　合音	学識経験者	
	秋山　文枝	学識経験者	長原　孝弘	学識経験者（館長）	
	正木　勝未	学識経験者	川田　良文	丸亀市教育部長	
	加藤　種男	学識経験者			
監　　事	後藤　　修	学識経験者	篠原　　隆	丸亀市会計管理者	
評 議 員	杉尾　英美	学識経験者　評議員会会長	西谷　清美	学識経験者	
	羽場　一喜	学識経験者	大北　　徹	学識経験者	
	妻鳥　　健	学識経験者	山崎　純一	学識経験者	
	阪本　麻耶	学識経験者	山田　哲也	学識経験者	
	直井　　工	学識経験者	岸本　圭一	丸亀市文化課課長	

［2020年３月31日現在］

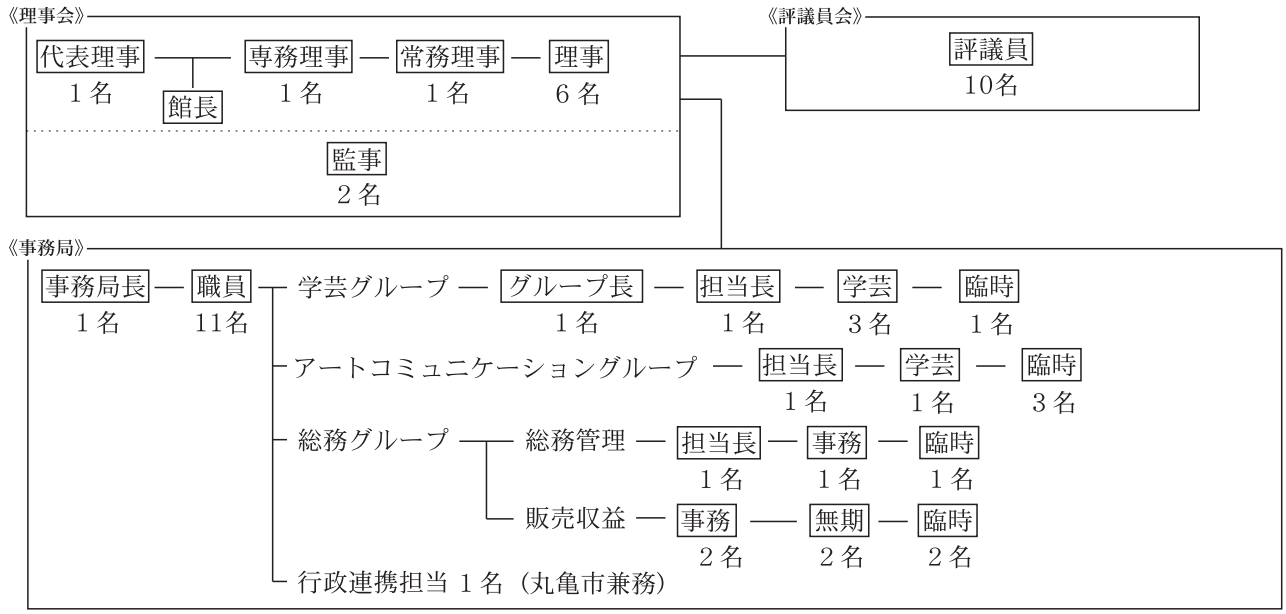
2020年度（令和２年度）



代表理事	森　　茂	学識経験者			
専務理事	山地　幸夫	丸亀市産業文化部部長			
常務理事	宮武　正治	学識経験者			
理　　事	塩田　　等	学識経験者	森　　合音	学識経験者	
	秋山　文枝	学識経験者	長原　孝弘	学識経験者（館長）	
	正木　勝未	学識経験者	石井　克範	丸亀市教育部長	
	加藤　種男	学識経験者			
監　　事	後藤　　修	学識経験者	篠原　　隆	丸亀市会計管理者	
評 議 員	杉尾　英美	学識経験者　評議員会会長	西谷　清美	学識経験者	
	羽場　一喜	学識経験者	大北　　徹	学識経験者	
	妻鳥　　健	学識経験者	山崎　純一	学識経験者	
	阪本　麻耶	学識経験者	山田　哲也	学識経験者	
	直井　　工	学識経験者	平尾　　聖	丸亀市文化課課長	

［2021年３月31日現在］

2021年度（令和３年度）



代表理事　森　　茂　学識経験者

専務理事　林　　裕司　丸亀市産業文化部部長

常務理事　徳田　善紀　学識経験者

理　　事　秋山　文枝　学識経験者
正木　勝未　学識経験者
加藤　種男　学識経験者
森　　合音　学識経験者
長原　孝弘　学識経験者（館長）
植松　由佳　学識経験者

監　　事　後藤　　修　学識経験者
吉崎　永吏　丸亀市会計管理者

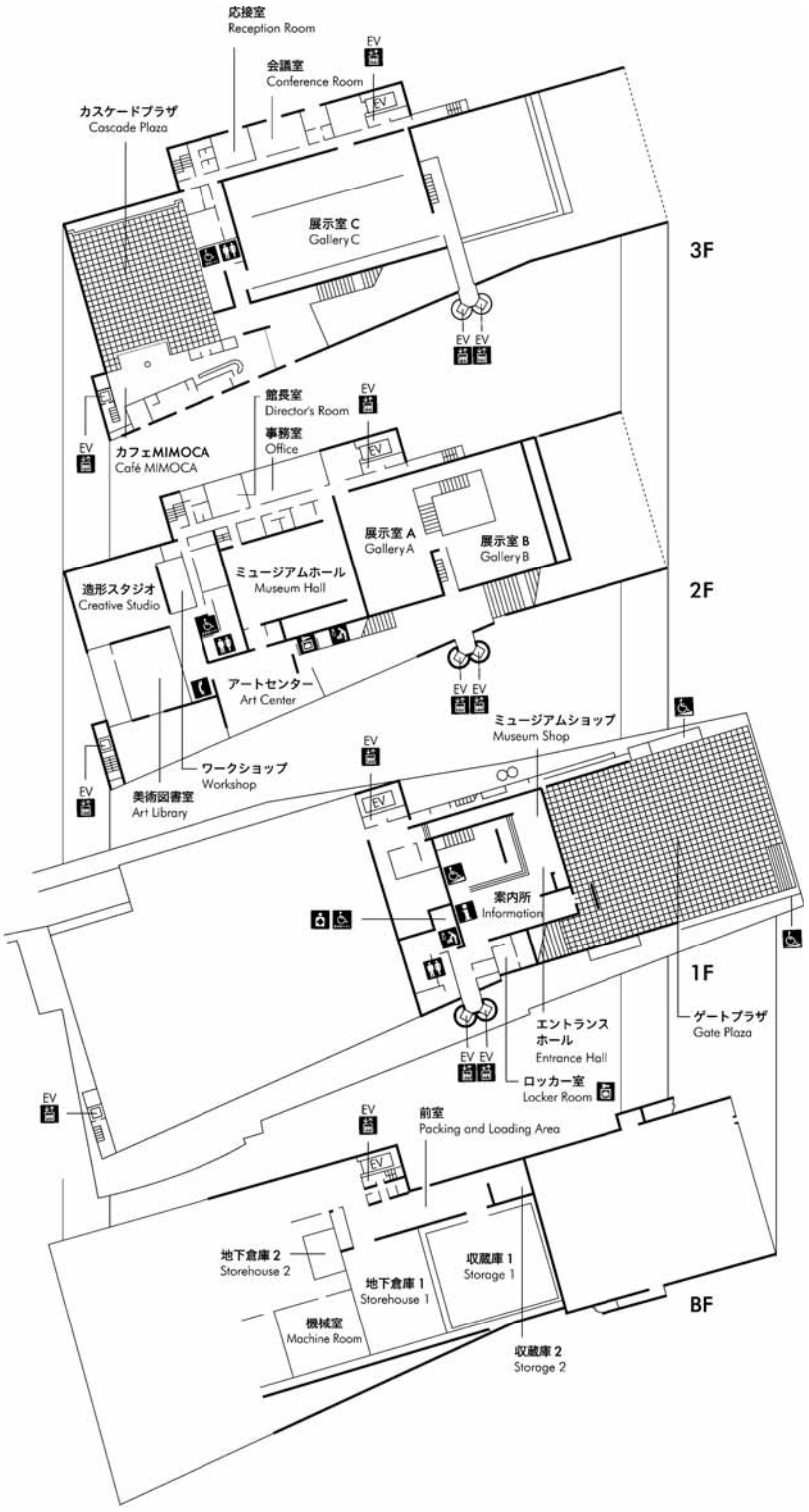
評 議 員　杉尾　英美　学識経験者　評議員会会長
羽場　一喜　学識経験者
妻鳥　　健　学識経験者
阪本　麻耶　学識経験者
直井　　工　学識経験者
西谷　清美　学識経験者
大北　　徹　学識経験者
山崎　純一　学識経験者
山田　哲也　学識経験者
平尾　　聖　丸亀市文化課課長

［2022年３月31日現在］

IX 施設概要

所在地	丸亀市浜町80番地1
敷地面積	5,974.53㎡
規模構造	鉄骨鉄筋コンクリート構造 地下1階、地上3階
最高高さ	20m
建築面積	3,564.80㎡
延床面積	11,948.14㎡
仕上外壁	アルミ押出型材-Y(スパンドレル) 石(バーリントンスレート) コンクリート打放し
仕上内装	床：大理石、花崗岩、フローリングタイル、 ライムストーン、カーペットタイル、ゴムタイル、塩ビシート 壁：クロステックス(展示室)ナプコホワイト、ビニールクロス、 布クロス 天井：岩綿吸音ボード AEP、ボード塗装、アルミパネル
設計	谷口建築設計研究所
監理	丸亀市建築課 谷口建築設計研究所
施工	建築工事 (株)鹿島建設 電気設備工事 (株)栗原工業 機械設備工事 (株)川崎設備工事
工期	平成元年11月21日 着工 平成3年6月20日 竣工
長寿命化工事	平成30年12月21日 着工 令和2年3月19日 竣工

3F	展示室C Gallery C	642.74㎡
	カスケードプラザ Cascade Plaza	532.40㎡
	カフェMIMOCA Café MIMOCA	236.67㎡
	会議室 Conference Room	
2F	展示室A Gallery A	285.66㎡
	展示室B Gallery B	286.96㎡
	ミュージアムホール Museum Hall 170席(舞台照明・音響・映像設備完備)	297.05㎡
	造形スタジオ Creative Studio	202.15㎡
	ワークショップ Workshop	60.00㎡
	美術図書室 Art Library	195.20㎡
	ロッカー室 Locker Room	
1F	案内所 Information	
	ミュージアムショップ Museum Shop	
	ロッカー室 Locker Room	
BF	収蔵庫1 Storage 1	373.64㎡
	収蔵庫2 Storage 2	31.06㎡



X 利用案内

開館時間　10時～18時（入館は17時30分まで）

休 館 日　月曜日（祝休日の場合はその直後の平日）、年末12月25日～31日、および展示替え等による臨時休館日

観 覧 料　企画展：その都度料金設定

常設展：一般　300円（団体240円）

大学生　200円（団体160円）

無料：高校生以下または18歳未満、丸亀市内に在住の65歳以上、各種障がい者手帳をお持ちの方

割引：20名以上の団体　2割引

交通案内

□鉄道（JR）

JR丸亀駅より徒歩１分

東京駅－（新幹線で約３時間20分）－岡山駅－（松山または高知方面行特急で約40分）－丸亀駅

博多駅－（新幹線で約１時間40分）－岡山駅－（松山または高知方面行特急で約40分）－丸亀駅

高松駅－（予讃線快速で約30分）－丸亀駅

□飛行機

高松空港より、タクシー約40分／乗合タクシー約50分／リムジンバス約75分）

岡山空港より、リムジンバス約30分－岡山駅－（松山または高知方面行特急で約40分）－丸亀駅

□高速バス

東京・横浜・名古屋・大阪・神戸・福岡より丸亀駅まで直通運行

□車

本州方面から

（瀬戸大橋経由）瀬戸中央自動車道 坂出北ICより約15分

（神戸淡路鳴門自動車道経由）高松自動車道 坂出ICより約15分

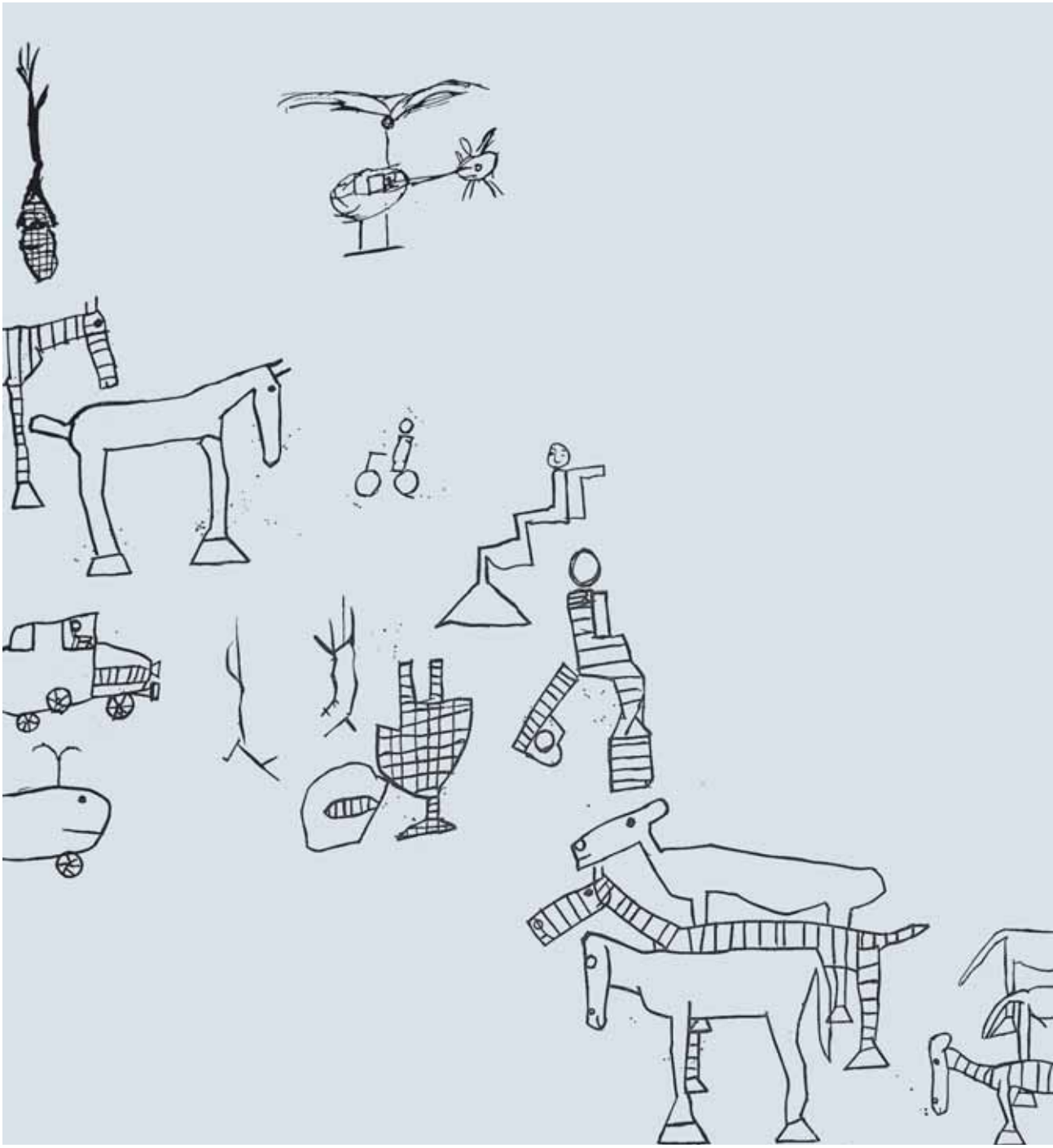
四国内の高速道路から

高松自動車道 坂出IC・善通寺ICより約15分

駐車場◆JR丸亀駅前地下駐車場（２時間無料）

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館年報　2019-2021

令和５年３月　　印刷
令和５年３月　　発行
編集・発行　丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団
　　香川県丸亀市浜町80-1　TEL(0877)24-7755
印　　刷　　株式会社 日柳印刷所
　　香川県丸亀市南条町46番地　TEL(0877)22-5194



Marugame Genichiro-Inokuma Museum Of Contemporary Art
Report 2019-2021